

第九十回帝國議會 衆議院 林業會法案委員會會議錄(速記)第十八回

付託議案
林業會法案(政府提出)

昭和二十一年九月十二日(木曜日)午前
十時二十五分開議

出席委員

委員長 森 幸太郎君

理事 廣田 一郎君

理事 佐田 幸平君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

理事 廣田 一郎君

マセヌノデ、ソレマデニ二、三農林當局ニ對シテ質疑ガアルヤウデアリマスカラ、便宜之ヲ許シタイト思ヒマス、本日ハ成べく午前中ニ質疑ノ全部ヲ終了致シタイト考ヘテ居リマスルカラ、委員諸君ハ豫メ其ノ御積リデ御願ヒ致シタイト思ヒマス——平野君

○平野(増)委員 農林當局ニ御尋ネヲ致シマスガ、營林署ノ管轄内デ所伐作業組合ト云フノガ戰時中カラ出來テ居リマシタ、是ガ戰時中ノ所謂軍ノ方針ニ依ル指導ガ今以テ繼續サレテ居ル、而シテ最近ノ現狀ヲ見マス、非

常ニ弊害ガ露骨ニナツテ参リマシテ、各地ニ摩摺ガアリ、非難ガアリ、我々常ニ其ノコトヲ耳ニシテイヤナコトダ

ト思フテ居リマス、是ハ山林局ニ於テハ大體御耳ニ入ツテ居ルコト存ジテ居リマス、今回林業會ガ出來マス此ノ機會ニ、斯様ナ戰時中ニ於ケル所ノ、非難ノアル所伐作業組合ト云フヤウナ

モノハ解散サセテ、サウシテ其ノ組織ヲ各地ニ於テ出來ル林業組合ニ加入セシメル、斯ウ云フコトガ最も妥當ダト考ヘテ居リマスガ、之ニ對スル當局ノ御所見ヲ承リマス

○中尾政府委員 所伐作業組合ノ件ニ付キマシテハ、昨日モ申上ゲマシタ通り、只今詳細取調中デアリマシテ、只今御尋ノヤウナ色々弊害ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、具體的ニマダ分ツテ居ラナイノデアリ

マスルガ、能ク調査ヲ致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ今後指導監督ヲシテ行キタイト存ジテ居ルノデアリマス

解散ノコトニ付キマシテハ、是ハ戰時前カラ出來テ居ル組合デアリマスガ、木材ノ生産増強ニ付キマシテハ相當ノ成績モ收メテ居リマス、色々非難攻撃サレルト云フヤウナコトガナイヤウニ指導監督致シマシテ、引續キ生産事業ノ方ニハ從事サシテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯林業組合ニ加入ノ件ハ、當然加入スベキダト考ヘテ居リマスルノデ、其ノ方向ニ向ツテ指導致シテ行キタイト考ヘテ居リマ

ス

○平野(増)委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ハ甚ダ不満足デアリマス、ナゼ不満足カト申シマス、御答辯ト私ノ言フコトト根本ニ食違ヒガアル、私ノ考ヘハ、斯様ナ民間ノ團體ニ任セテ所伐作業ヲ行ラセ、斯ウ云フ弊害ノ最モ起リ易イ性質ヲ有スルモノハ、一體今マデモ止メサスガ宜カツタノデアリマスガ、殊ニ林業會法ガ實施サレルスウ云フ機會ニ於テ、斷然解散サセテ、其ノヤツテ居ル仕事ハ別ノ組織ヲ以テ林業組合ニ加入セシメル、斯ウ云フ方法ヲ執ラナケレバ、其儘林業組合ニ加入セシメルノデアッタナラバ、弊害ハ其ノ儘付イテ廻リマス、若シ只今政府委員ノ御答辯ノ如クニ、調査ヲシテ、左様ナ弊害ガナイカ調ベテ見ルト云フ御話デアリマスガ、營林局ノ役人ト作

業組合ノ幹部トノ間ニ於ケル弊害ヲ、ドウ云フ方法ヲ以テ御調ベニナルカ分リマセヌガ、山林局ガ營林局ノ内容ヲ調ベナルド云フコトハ、是ハ到底駄目ナコトデアアル、本當ノコトハ分

マセヌ、御參考マデニ其ノ一端ヲ申上ゲマスレバ、大阪營林局ノ前ノ事業部長ナド相當ナコトヲヤツテ居ル、サウシテ名古屋方面ノ我々ノ知ツテ居ル木材業界ノ有力者ハ、之ニ依ツテ莫大ナ

惡イ金儲ケヲシテ居ル、マター一例ヲ申上ゲマス、營林局カラハ公定價格デ拂下ヲ受ケタモノヲ、公定價格ノ何倍ト云フ價格デ、其ノ儘他ノ轉賣シテ金儲ケヲ盛ンシヤツテ居ル、斯ウ云フ事

實ハ業界ガ皆知ツテ居ル、ソレガ爲ニ非常ニ今日非難ガアルガ、併シナガラ戰時中ニ或ル軍ノ有力ナ支持ヲ受ケテヤツテ來タ關係上、今マデハ黙ツテ居タケレドモ、今ハ承知シナイ、デアリ

マスカラ、是ハ方針トシテ解散ヲシテ、改メテ其ノ事業ヲ別ノ組織ニ依ツテ繼續サシテ、人ヲ送ヘルトカ、組織ヲ變ヘルトカ云フコトニシテ林業組合ニ加入セシメテ行ク、斯ウ云フ風ニオヤリ

ニナルコトヲ一ツ言明ヲ願ヒタイ、サウシナケレバ恐ラク今後林業會法案ニ基イテ、各地ニ林業組合ヲ作ル場合ニ、必ズ是ガ重大ナ問題トシテ支障ヲ來シマス、ソレヲ私ハ豫見シテ居ル爲ニ御忠告ヲ申上ゲテ、方針ヲ決メテ戴クヤウニ御答辯ヲ願ヒタイ思ヒマス

○中尾政府委員 御趣旨ノアル所ハ十分分リマシタノデ、折角只今調査中デモアリマスルシ、調査致シマシタ結果ニ依リマシテ、非民主的ノ所ガアリマ

ス場合ハ民主的ニ組織ヲ改メ、或ハ人ヲ送ヘル必要ガアレバ送ヘルモ致シマス、サウ云フ風ニシテ善處シテ行キタイト考ヘマス

○森委員長 運輸大臣ガ見エマシタカラ……坪井君

○坪井委員 運輸大臣ニ質問致シタイト思ヒマス、我が國ハ未曾有ノ戰災ヲ蒙リマシテ、所謂三百數十萬戸ノ家屋ハ焼失、尙ホ又海運ニ於ケル船ノ大半ハ失ヒ、其ノ他我が國ノ交通上ニ於

キマシテモ、鐵道等ニ於ケル復舊ハ、殆ド戰時中是等ノ修理ガ行ハレズ、現在ハ辛ウジテ運輸シテ居ル程度デアリマス、最近各地ニ鐵道ノ事故ガ頻發ス

ルト云フコトモ其ノ一例デハナイカ、言換ヘレバ、線路ガ非常ニ破損シテ居ル、枕木等ノ資材入手難ト云フヤウナ點モ大キナ影響ヲ及ボシテ居ルノデハ

ナイカ、是ガ爲ニ線路ヲ改良スルコトガ出來ナイ、其ノ觀點カラ見マシテモ、尙又現在ハ進駐軍ノ家屋ニ對スル木材ノ運搬、是等ニ付テハ多少緩サレテ

居ルヤウデアリマスガ、殆ド一般戰災復興ニ對スル材木ノ輸送ハ巧ク行ハレテ居ラナイ、是ハ車輛ノ足ラナイ點モゴザイマセウ、或ハ石炭ノ足ラナイ

云フ現象モゴザイマセウガ、ドチラニシテモ是ガ圓滑ヲ缺イテ居ルコトハ事實デアリマス、勿論運輸大臣カラ見レバ、驛マデ出サレタモノハ敏速ニ運ンデ居ルガ、驛マデ出スニ手間ヲ取ツテ居ルカラ、其ノ點ハ已ムヲ得ナイト云ハレルカモ知レマセヌガ、私ハサウ言フベキモノデナクシテ、交通運輸ト云フモノハ、生産地カラ消費地マデ持ツテ來ルノガ交通運輸ニ屬スル面ダト思ヒマス、斯カル意味ニ於テ、直チニ之ヲ鐵道ノミニ依ツテ輸送ヲ解決シヨウ

ト云フガ如キハ、交通事業ニ對スル洵ニ輕率ナ考ヘト私ハ考ヘマス、之ヲ如何ニスルカ、所謂産地カラ各鐵道路線マデ持出スニハ何トシテモ直チニ鐵道ニ依ルト云フコトハ出來ヌノデアリマス、此ノ機會ニ之ヲドウ處理スルカト云フコトニ付、過般私共モ研究モシテ居ルシ、尙又此ノ問題ニ付テハ、相當地方ノ大キナ問題ヲ惹起シテ居ルコトハ、私ガ申上グルマデモアリマセヌ、其ノ一例ト致シマシテハ、濱松地方ニ於ケルアル遠州電氣鐵道株式會社ガ、水窪方面ニ對シマシテ「バス」ノ許可ヲ取リ、今マデ運行シテ居ツタノデアリマス、此ノ路線ニ對シマシテ今同省管ヲ持チマシテ、省管「バス」及ビ省管「トラク」ヲ、此ノ九月カラ開始スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ間ニ紛爭ガ起キマシテ、實ニ是等ガ圓滿ニ解決ガ出來ナイト云フコトデ、先般私共郷里（歸リマシテ、之ニ對シテ色々善處方ヲ促シ、最後ニ名古屋鐵道局長ノ主催ニ依リマシテ諮問會ヲ開キマシテ、此ノ諮問ニ對シテ、結局結論ニ於テハ、過去長イ間職性ヲ拂ツテ遠電會社ノヤツテ居ツタ「バス」事業モ、今日ニ至ツテハ全ク貧困デアツテ、尙又現在ノ乗客ノ輸送、或ハ木材ノ輸送、或ハ林産物ノ輸送ニ此ノ鐵道ハドウスルコトモ出來ナイ、デアルカラ省管ニ依ツテ直チニヤラナカツタナラバ、此ノ山村ノ開發ガ出來ナイ、ノミナラズ、此ノ省管「バス」或ハ「トラク」ニ依リマシテ、結局鐵道マデ運出ス、此ノ鐵道ノ材料ノ飛躍ノ増産ヲ圖ルト云フヤウナ點カラ見時ニハ、直チニ之ヲ行フベシト云フヤウニ、私共ハ此ノ諮問ニ答ヘタノデアリマス、私共ト致シマシテハ、

斯様ニ各地ニ於テ交通關係ニ於キマシテ、オ五ヒニ過去ニ於テ犧牲ヲ拂ツタ其ノモノニ對シテ、今同省ガ之ヲ經營スルト云フコトニナリマス、自ラ過去ノ努力ニ對スル何等カノ、將來ニ於テ是等ニ補償施設アル程度シテヤルヤウニシナクテハ、圓滿ニ解決モ出來得マイ、斯ウ考ヘマス、尙又鐵道ヨリ産地ニ至ルマデノ間ハ、多少過去ニ於ケルサウシタ犧牲者ハ出シマシテモ、此ノ際省管「バス」或ハ「トラク」ヲ急速ニ、山地開發ノ上カラ見テモ、之ヲ取入レルト云フコトガ、交通運輸ノ面カラ見テモ、最モ必要デアルト私ハ痛感シテ居リマス、此ノ觀點カラ見マシタ時ニ、之ニ對シテ根本ノニドノ位ナ數額ヲ入レタナラバ、現在我が國ニ於ケル此ノ木材ノ必要量ニ對シテ、輸送ガ完全ニ生産地カラ而モ消費地マデ運バレルカ、唯單ニ驛カラ消費地マデト云フコトデナクテ、所謂生産地カラ消費地マデ持ツテ行クノニハドレダケノ計畫ヲシタラ宜シイカト云フコトニ付テ、若シ大臣ニ於テ計畫ガアリマシタナラバ、御聽カセ願ヒタイシ、ナカツタナラバ、今後ニ於テ直チニ此ノ計畫ヲ立テラレテ、最モ急遽ニ、此ノ適當タ木材ヲ一ツ一日モ早く消費地ヘ運バレテ、サウシテ都市ノ復興ヲ一日モ速カニサシテヤラナケレバナラナイト云フコトヲ、私ハ痛感シテ居リマス、其ノ數字ヲ私ガ調べテ見タノデアリマスガ、昭和二十一年度ニ於キマシテモ、此ノ木材ノ供給計畫並ニ配給ノ實績ヲ見マシタ所ガ、四月カラ九月マデ、是ハ上半期デアリマス、此ノ供給計畫ヲ政府ニ於テ立テラレタ、其ノ内譯ヲ申上ゲマスト、一般用材ニ於キマシテ建築ノ分ガ一千五百七十七萬六千石、土木ニ對

シテハ四百萬石、其ノ他ノ四百三十萬石、此ノ合計ガ二千四百七十六萬石、斯ウ云フ數字ニナツテ居リマス、之ニ對シマシテ、第一四半期ニ實際ニ配給サレタ實績ト云フモノハ、四月カラ六月マデト致シマス、建築ニ於テハ三百八十二萬七千石……

○森委員 坪井君、一寸御話中デスガ、今貴族院デ運輸大臣ノ答辯ヲ求メル議員ガ、立往生シテ居ルラシイデス……

○坪井委員 ソレデハ簡單ニ……

○森委員 簡單ニ要領ダケヲ言ツテ下サイ、ソレデ答辯ハ後ニシテ貰ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○坪井委員 之ニ對シテ三百八十二萬七千石、土木ニ對シテ二十一萬八千石、其ノ他ニ對シテ九十七萬七千石、合計デ九百四萬二千石、是ガ約四十一「パーセント」ニ當ツテ居ルノデアリマス、其ノ次ニ造船用ト致シマシテ百六十九萬六千石、車輛ニ四十七萬五千石、坑木ニ四百五萬四千石、枕木ニ三百三十二萬五千石、其ノ他ヲ合算致シマシテ、上半期ニ割當テタ數三千六百五十八萬石ニ對シテ、第一四半期ニ出タモノガ七百八十七萬石、約四十一「パーセント」デアリマス、然ルニ此ノ中遺憾ナコトニハ、車輛ノ四十七萬五千石ニ對シテ、僅カニ五萬三千石シカ出テ居リマセヌ、枕木ニ對シマシテハ三百三十二萬五千石ニ對シテ二十八萬三千石シカ出テ居リマセヌ、斯様ニ始末デ、ドウシテ急速ニ復興ヲ要スル……是等運輸ノ面カラ見マシテ、自ラガ必要トシテ居ル此ノ素材ガ斯様ニ始末アルト云フコトハ、數字カラ見マシテモ、如何ニ計畫ガ立ツテモ、此ノ實績カラ見テ、運輸省ニ於テ是等ガ手ニ入ラナカツタト云フコトハ、

私ハ運輸大臣トシテモ、將來ニ付テ全カラ注ガナケレバナラナイト云フコトヲ痛感シテ居ルノデアリマス、ドウカ政府當局ニ於キマシテモ、是等ノ最モ必要ナル、斯ウシタ交通面ニ對シマシテ、政府自ラヤル仕事ニ於テサヘモ斯ウデアリマス、況シテヤ民間ニ於テノ必要ナモノガ現在運バレナイト云フノハ當然ノコトデアラウト思ヒマス、結局斯様ニ觀點カラ見マシテ、私ハ今後此ノ運輸ノ面ニ付キマシテ、鐵道沿線ノモノダケデナク、産地カラ消費地マデ持ツテ來ル面ヲ、所謂省管ニ依ル所ノ「トラク」ト云フモノヲ増大シテヤツテ貰ヒタイ、之ニ依ツテ運シタナラバ、必ズ其ノ所定量ト云フモノハ配給出來ル、斯ウ考ヘマスノデ、之ニ付テ運輸大臣ノ確乎タル御信念ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○滿尾政府委員 丁度御質問ノ半バニ參リマシタノデ、或ハ全貌ヲ把握シテ居ラヌ點ガアラウカト思ヒマスガ、大體察シマスニ、木材ノ鐵道沿線ニ至ル輸送力ノ不足ノ御話デアラウト思ヒマスガ、之ニ付キマシテハ、實際我が國ノ「トラク」ノ實働勢力ト云フモノハ甚ダ貧弱デゴザイマシテ、到ル處ニ「トラク」ノ不足ヲ囁カレテ居ル譯デアリマス、大體「トラク」ト致シマシテハ、本當ニ動イテ居リマスモノハ、私共ザツト二萬臺ト見テ居ル譯デアリマス、此ノ面デ「トラク」ノ臺數ニ於テ不足シテ居リマスコト、燃料ノ面ニ於キマシテモ實ハ甚ダ不自由ナ事情ニナツテ居リマス、ソレデ此ノ燃料ニ付キマシテハ、聯合軍司令部ニ「ガソリン」ノ輸入ヲ懇請致シマシテ、此ノ五月頃カラボツ／＼面倒ヲ見テ戴イテ、只今ノ所デハザツト私共ノ必要ト考ヘ

ル數目ノ五割乃至六割見當ラ戴イテ居リマスルガ、漸次増加シテ戴イテ居リマスノデ、餘リ遠クナイ内ニ、大體所要ノ數量ヲ或ハ戴ケルカ、斯ウ云フヤウナ希望ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ殊ニ木材ノ輸送ニ關シマシテハ、今マデ「トラク」輸送ノ需要ガ非常ニ多カシタ時代ニ、或ハ配車等ノ不圓滑ト云フヤウナコトモアツタカト私共實ハ察シテ居ル譯デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、成ベク業界ニ對シテ注意ヲ與ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス、先程ノ御話ニ、省管「トラク」ノ擴充ニ依ルト云フ御言葉ガアリマシタガ、省管ニ於キマシテハ、固ヨリサウ云フ重要物資ノ輸送ヲ本來ノ目的トシテ努力サセテ居ルノデアリマスルガ、省管ノ實働力ハ約千輛位シカ「トラク」ヲ持ツテ居リマセヌ、隨テ民營ノ「トラク」ニ比ベマスト云フト二十分ノ一位ノ力デアリマシテ、全體カラ見マシレバ極ク微々タル勢力デアリマス、唯私ハ今年ノ四月ニ、一部省管ノ機動運送ト云フコトヲ致シマシテ、ソレハ僅カニ二百五十輛位ノ車デゴザイマシタガ、從來ノ省管自動車ノヤウニ定路線ニ配屬スルト云フノデナシニ、何處デモ歩ク、全ク一般ノ民間ノ「トラク」ト同ジヤウナ動キ方ラスル、ソシテ特ニ重要物資ノ搬出ニ當ル、又運賃モ公道價格ノ運賃ヲ實施致シマシテ、民間ノ「トラク」業者ノ重要物資ノ方面ニ對スル配車、並ニ適正ナル運賃ト云フヤウナコトニ對シテ刺戟ヲ與ヘル試ミモ實ハ致シマシテ、何トカシテ我が國ノ「トラク」輸送事業ヲ明朗ナモノニ致シタイト努力シテ参ツタノデアリマス、只今ニ於キマスル實情ヲ申上ゲマシタ

○坪井委員 尙ホ不明瞭ナ點ハ、是等ノ枕木等ノ入手難、之ニ付テハドウ云フ處置ヲ執ラレカ、是ハヤハリ計畫倒レニテ居リマス、斯様ナコトデハ交通ノ點カラ見マシテモ、所謂完全ナル輸送ヲシタイト云ヒマシテモ、鐵道ガ痛ンデ居ツテハ是レ亦完全ナル輸送ガ出来マセヌガ、之ニ對シテ將來ドウ云フ方途ヲ講ズルカト云フコトニ付テ御聽カセ願ヒタイ、尙ホ又關聯致シマシテ、都市ノ復興ヲ叫ブモノハ所謂山村ノ開發ヲシナケレバナラヌ、是ハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、サウスルニハドウスルカト申シマスレバ、急速ニ國道ヲ敷設スル、山村ニ對シマシテ、都市カラ繋グ國道ヲ敷設スルト云フコト以外ニハナイト思ヒマス、之ヲ政府トシテハ思ヒ切ツテヤル意思アリヤ否ヤト云フコトニ付テ、是モ關聯性ヲ持チマスカラ運輸大臣ニ御伺ヒシタイガ、オイデガナケレバ一ツ代ツテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○滿尾政府委員 枕木ノ輸送ニ付キマシテハ、特ニ枕木ヲ取出シテ、今ノ輸送ノ計畫ノ目途ニシタコトハ實ハゴザイマセヌ、私共ノ方面ニハ、枕木ノ業者カラ特ニ注文ガアツタト云フヤウナコトハ現ハレテ来ナイノデアリマス、輸送ノ問題ニ付キマシテハ、單リ木材ニ限ラズ、一面カラ申シマス輸送力ガ非常ニ足リマセヌ、併シ又物事ガ目付行カナイ時ニ、簡單ニ、輸送ノセイダト云ツテ逃込マレル例モ偶ニアルノデアリマス、我々トシマシテハ、殊ニ「トラック」ノ輸送ニ關シマシテハ、何處方面ニ斯ウ云フ重要物資ガ滯留シテ居ル、ダカラ之ヲ是非捌イテ貰ヒタイト云フ具體的ナ注文ガゴザイマスレバ、其ノ物資ガ國民生活上重要物資デ

アル限り、直チニ具體的ニ之ヲ捌ク準備ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是等ノ面ハ能ク農林省トモ御打合せスルノデアリマスガ、兎角ドウモ、物ノ生産ヲ握ツテ居ラレル側カラノ御注文ガ「コシクリート」デナイ、ドウノ地方デ、ドウノ期間、是デケノ「トラック」ガ入用ダト云フ明確ナ御連絡ガゴザイマスレバ、ソレガ大事ナ貨物デアリマス、私共ハソレニ動員スル用意ヲ組織ヲ持ツテ居ルト確信シテ居ル、所ガ實際問題トシテ、遺憾ナガラサウ云フ事例ガ少イ、實ハ先達デモ、肥料等ノ輸送ニ付テ、輸送ガ目付行カナイカラ肥料ガ出タコトガアリマス、然ラバ其ノ肥料ハ、何縣ニ於テ何時頃ドウノ位ノ「トラック」ガ要ルカト云フコトヲ御打合せ致シマシタ所ガ、餘リ實績ノナカクサウナ話モアツタノデアリマス、サウスル工合ニ、本當ニ何處方面デドレダケ木材ガ溜ツテ居ル、サウシテ此ノ木材ハ斯ウ云フ性格ノ木材ダ、大事ナ木材ダカラ是非何時マデニ捌キタイト云フ御話ガゴザイマスレバ、他ノ縣ノ「トラック」ヲ動員スルト云フコトハ可能デアリマス、又必要ニ依リマスレバ、省營自動車ヲ全國農村カラ集メテモ宜シウゴザイマス、ダカラ斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、飽クマデ實證的ニ、具體的ニ御注文戴キマスレバ、出來ルダケノコトヲ致ス積リデアリマス

ソレカラ道路ノ問題ニ關シマシテハ、實ハ是ハ運輸省ノ所管デハゴザイマセヌノデ、政府委員ノ私トシマシテハ何モ申上ゲラレナイノデアリマス、併シ自動車ノ交通ト云フコトニ付キマシテハ、道路ガ最も深イ關係ニゴザイマスノデ、私共深甚ナル關心ヲ拂ツテ居

リ、内務省ニ對シマシテ色々ト實ハ連絡ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス

○坪井委員 只今道路ニ付テハ内務省關係デ關係ガナイト申サレマシタガ、省營バスノ運行ニ當リマシテモ、道路ノ改修費ト云フモノガ相當生ジテ來タト見ナクチヤナラヌシ、是ハ運輸省ニ關係スル所ガ非常ニ多イト想フ、之ニ付テハドウマデモ、内務省以上ニ、山村開發ニ付テ、所謂林業行政ニ付テノ力ヲ入レルノハ、運輸省ガ此ノ鍵ヲ握ツテ居ルト云フコトヲ何故私ガ強ク言フカト申シマス、現狀ハ材木ノ素材ノ價格ヨリモ寧ろ運賃ノ方ガ高クナツテ居ル、是等ニ對スル價格統制ト云フモノヲ運輸省ノ面ニ於テヤラナイ爲ニ支障ガアツテ、數連ニ運バレナイ、先程ノ御言葉ニ依レバ、實質的ニ必要ガアレバ全國カラ「トラック」ヲ動員スルト言ツタガ、コンナコトハ言フベクシテ、到底出來ヌ無謀ナ言ダト私ハ憤慨スルノデアリマス、此ノ燃料ノ少イ時ニ、全國ノ「トラック」ガサウ簡單ニ動員出來ルモノデハナイ、結局其ノ土地ニ於テ、山間部ヲ走ツテ居ル「トラック」ガ、何カ特定ノ重要物資ヲ運搬スル爲ニ、各地何處ニデモ行ツテ走リ廻ルト云ツテ、山間部ヲ走ル「トラック」ガ都市ニ行ツテ走ラレタノデハ、何等山間部ノ仕事ハ出來ナイ、斯ウ云フ觀點カラ見マシテ、將來森林組合トカ、或ハ縣デ言ヘバ、縣ノ林業會ト云フヤウナモノニ「トラック」ヲ備付ケルコトモ必要デアル、尙又一面政府トシマシテモ、先般運輸大臣ノ御話ガアツタト云フコトヲ、私ハ直接デハアリマセヌガ伺ツテ居リマスガ、此ノ秋カラ甘藷或ハ供出米ノ輸送ニ付テ「トラック」ガ足ラナイ、ダカラ外國カラ一萬

千五百至五千臺モ入レルト云フヤウニ伺ツテ居リマス、是モ必要デアリマセウ、ケレドモ斯ウシタ都市ノ復興ヲ一日モ早クヤラナケレバナラナイト云フ時ニ於テ、僅カ千臺ダケノ省營「トラック」ニ依ツテ計畫ヲシテ居ルト云フコトハ、政府自ラモ全ク手溫イコトデハナイカ、全國町村ノ數モ一萬餘モアル、假ニ一臺ノ「トラック」ヲ配置致シマシテモ一萬臺要ルト云フ勘定ニナル、サウ云フ觀點カラ見タ時ニ、政府ニ於テハ、山村ノ開發ト云フコトニ付テハ、一體ドレダケノ「トラック」ヲ増産スルトカ、或ハ國內ニ於テナイナラ外國カラ取入レテモ、他ノ主要食糧ヲ搬出スルト同様ニ、之ニモ重點ヲ置クベキダト私ハ考ヘテ居リマスガ、是等輸入計畫ニ付テ、運輸省トシテドンナ處置ヲ執ツテ居リマスカ、アリマシタラ御聽カセ願ヒタイ、ナイナラ直チニ之ヲ採入レテ、サウシテ早く運輸ノ面ヲ解決スルコトガ最も必要ダト考ヘマス

○滿尾政府委員 先程私ノ説明シマシタノハ、多少誤解ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ全國ノ民營ノ「トラック」ヲ動員スルト申上ゲタノデハナク、方方ニ散ラバツテ居リマス省營自動車ノ「トラック」ハ、或ル程度動員ハ可能デアリマス、隣ノ縣ノ路線ニ持ツテ行クコトモ可能デアリマス、其ノ意味ニ於テノ省營ノ動員事アリマス、民營ノ「トラック」ヲ大々的ニ動員スルト云フコトハ、御話ノ通り妥當デナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ只今御質問ニナリマシタ輸入ノ狀況デゴザイマスガ、是ハ我が國ノ自動車ノ生産ト云フモノガ、此ノ頃餘程良クナリマシテ、大體千臺乃至千五百臺出來テ居リマスガ、

此ノ程度デハ私共ノ考ヘテ居リマス輸送力ノ擴充カラ見テ足リマセヌ、隨テ先般來聯合軍ニ對シテ「トラック」ノ拂下ヲ御願ヒ申シテ居リマス、併シマダ此ノ話ハ進行中デゴザイマシテ、餘リハツキリシタ形ヲ取ツテ居リマセヌ、當方カラ左様ナ希望ヲ申出テ、懇請シテ居ル最中デゴザイマス

○平野委員 經濟安定部長官ニ御尋ネテ致シマス、林業會法案ガ近ク實施サレマスコトニナリマスレバ、大體我が國ノ木材生産方面ノコトハ、一應組織立ツテ民主的ニ出來上ルト云フコトヲ信ジマスガ、此ノ際ニ當リマシテ、私ハ長官ニ特ニ自分ノ所見ヲ申上ゲテ、御意見ノアル所ヲ承ツテ置キタイと思フノハ、一番大切ナルコトハ價格ノ面デアリマス、折角林業會ノ組織ガ出來マシテ、全國ノ森林組合並ニ木材業者ガ全國的ニ動員サレマシテモ、價格ノ點ニ於テ、若シ誤ツテ戰時中ノヤウナ思想ガ織込マレテ、所謂公定價格制度ト云フモノガ之ニ強く反映スルナラバ、折角出來上リマシタ組織ガ悉ク半身不遂ニ終ル、斯様ナコトヲ心配致シマス、是ハ少シ諄イヤウデアルカモ知レマセヌガ、極メテ簡潔ニ公定價格ト云フモノノイケナイ點ヲ申上ゲタイ、ソレハ先般豫算總會ノ時ニモ少シ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、時間ガナクテ林業會法案ノ際ニ關ルト云フコトニシテ置キマシタガ、木材ト云フモノハ、普通ノ工場ヲ機械ニ依ツテ生産サレルモノト違ヒマシテ、天然ニ出來上ルモノデアツテ、假ニ其ノ木材ヲ製材工場デ、色々ナ規格ニ依ツテ之ヲ作リ上ゲマシテモ、依然トシテ天然物デアルトハ變ラナイノデアリマス、唯形ガ色々出來ルダケデアリマス、ソレ故

一八七

ニ之ニ從來ノヤウナ公定價格制度ヲ用ヒラレルナラバ、必ズ實行ガ旨ク行カナイト云フコトハ、戰時中數年ノ經驗ニ依ツテ證明ヲ俟タナド明瞭ニ分ツテ居ル、殊ニ私ノ一番憂慮シマス點ハ、此ノナケナシノ木材ヲ、戰時中ニ公定價格ノ弊害ニ依ツテ多量ニ無駄ニシテ來タカト云フコトデス、此ノ戰後ニ於テモ再び斯ウ云フコトガ繰返サレルコトニレバ、實ニ資源ニ乏シイ日本ノ山林カラ、折角伐リ出シタ木材ヲ、又々戰時中ノヤウニ多量ニ無駄ニシテシマフ、其ノ一例トシテ分リ易ク申セバ、公定價格ヲ決メマス場合ニハ、短イ材木ヨリ長イ材木ハ必ズ高クナリマス、長サ寸法ニ依ツテ漸次公定價格ガ高クナル、是ハ當然ナデス、ソレカラ幅ノ狭イモノヨリハ幅ノ廣イ製品ガ高イ、隨テ生産者ハ利潤ヲドウシテモ忘レルコトハ出來マセヌカラ、利潤ノ多イモノヲ生産スル、山カラ伐ツテ出シマス場合ニ、十三尺ニ伐ルベキモノヲ二十六尺ニ切ヤント伐ツテ與レルナラバ、場合ニ依ツテ二ツ切リデ間ニ合ヒマスガ、是ガ三十尺或ハ三十五尺トカ、出來ルダケ長ク、搬出ノ關係ガ許ス範圍ニ於テ長クシテ行ク、サウシテ之ヲ工場ニ於テ使フ場合ニハ、ソレヲ切斷シナケレバナラス、要リ用ナモノニ之ヲ短カクシナケレバナラス、詰リ目的ノ品物ヨリモ倍モスルヤウナ公定價格ノ資料ヲ買入レテ製材シナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ弊害ガ今日マデ漸山行ハレタ、ノミナラズ今度ハ之ヲ實際ノ消費面ニ持ツテ參リマス、無用ニ幅ノ廣イモノ、長イモノヲ勢ヒ持ツテ來ラレル、今度ハソレヲ再製シナケレバナラス、使フ場合ニハ、ドウシテモ幅ガ廣過ぎテ困ルカラ、再

ビ幅ヲ狭クシナケレバナラス、狭クスル場合ニ端タガ出ル、又長イモノヲ切ツテ行ク場合ニ於キマシテモ、三尺トカ五尺トカ云フ半端ガ出テ來ル、斯ウ云フヤウナ無駄ガドレ位行ハレルカ分ラヌ、是ハ唯ソレダケノコトデアリマスガ、今度ハ板ノ厚ミトカ或ハ板張トカ色々ナモノヲ作リマス場合ニ、或ベク公定價格ニ引合ハセテ引合フモノ、利益ノアルモノヲ多量ニ生産シテ、利潤ノ少イモノハ殆ド極端ニ作ラナイ、デスカラ玆ニ一萬石ノ梓ヲ賣ツテ木材ヲ賣ツタ場合ニ、一萬石ト云フ石數ハ輸送シテ賣ツタガ、儲テ其ノ中カラ自分ノ必要ナモノヲ選リ出シテ見ルト、僅カニ三千石カ四千石シカナイ、後ノ大部分ハ當面ノ間ニ合ハナイ、仕方ガナイカラ續ンデ置ク、其ノ中ニ乾割レガ入り闕リガ出ル、斯ウ云フヤウナコトデ、ドレ程戰時中ニハ、軍ニ於テモ或ハ一般ノ軍需工場ニ於テモ無駄ヲシテ木材ヲ腐蝕セシメ、終ヒハ焚物ニシテシマフト云フヤウナコトガ澤山ニ行ハレタコトカ、其ノ爲ニ國家ノ損失ハ實ニ莫大ナモノデアリタ、此ノ公定價格制度ヲ採ラレルナラバ再び同ジコトヲ繰返サレル、斯ウ云フコトヲ私ハ深ク憂慮スルモノデアリマス、而シテ公定價格ト云フ制度デアリ限リハ、何ト云ハレマシテモ關流シ、橫流シト云フモノガ、必ズ何等カノ巧妙ナ方法デ行ハレル、ソコデ今度ハ物資需給調整法ノ上カラ非常ナ嚴罰主義ヲ以テ取扱ハレルト云フコトニナリマスレバ、其ノコトニ恐レヲナシテ、生産者ハ差縮シテシマツテ結局生産ガ衰ヘル、斯ウ云フコトニナツテ、遂ニ角ヲ矯メントシテ牛ヲ殺スト云フコトニナルト云フコトヲ、私ハ固ク信ズルモノデアリマス、

デアリマスカラ、當局ト致シマシテモ、物價廳ニ於キマシテドウ云フ方法デ木材ノ價格ヲ決メラレルカト云フコトニ付テ、具體的ノ御方針ヲ承リタイ、之ヲ承ツテ、全國ノ生産者ガソレヲ據リ所トシテ、安心シテ生産ニ從事スルコトニナラナケレバ、是ハドウシテモ所要ノ木材ヲ生産スルコトハ出來ナイ、斯様ニ信ズルノデアリマス、此ノ點ニ於テ長官ノ御意見ヲ承リタイ

○勝國務大臣 只今ノ平野サシノ御尋ネニ御答ヘ申上ゲマスガ、木材ガ普通ノ工業生産品トシテ、天然ノ條件ニ支配サレ、又其ノ種類ノ多様ナ性質、又之ヲドウ云フ風ニ仕上ゲルト云フヤウナ點カラ、物價政策ガ惡イ場合ニ、之ヲ反映シテ只今御述べベナリマシタヤウナ色々ナ無駄ガ出來、又面白カラザル現象モ出來マスコトハ、既ニ苦イ經驗ヲ嘗メタコトデ、深ク注意シナケレバナラスコトデアリマス、併シナガラソレガ直チニ公定相場ヲ決メルコトト兩立シナイ問題トモ存ゼラレナイノデアリマス、但シ現在マデヤツテ居リマスヤウニ、細カイ品種及ビ寸法ノ色々ナモノニ互リマシテ、何千何萬種ノモノニ對シテ細カイ公定相場ヲ決メルコト云フ制度ハ、私モ好マシカラスモノト存ジテ居リマス、併シナガラ一方現在ノ物資ノ需給ノ狀態カラ見マシテ、殊ニ木材ガ將來ノ色々ノ用途ニ於キマシテ、日本經濟ノ再建ニ非常ニ大キナ役割ヲスルモノデアリ、而モ之ヲ自由ニスルコトハ、マダ各般ノ事情ガ許サスト存ゼラレマスノデ、物價廳ト致シマシテハ、ヤハリ木材ノ公定價格ヲ全部外スト云フマデノ勇氣ガアリマセヌ、ヤハリ或ル程度ノ價格統制ヲ、當分ハ行ツテ行カケレバナラスト存

ジテ居リマス、但シ從來ノヤウナ、細目ニ互ツタマデ公定スルコトニ付キマシテハ、私モ今平野サシノ御述べベナリマシタヤウナ弊害ノアル爲ニ鑑ミマシテ、全ク御同感ナノデアリマス、然ラバドウ云フ風ニヤルカト云フコトハ、折角研究ヲサセテ居ル譯デアリマス、是ハマダ物價廳トシテノ定ツタ意見モ申上ゲラレマセヌケレドモ、私ガ斯ウ云フ方法デ研究シテ見ロト申シテ居リマスコトハ、極ク代表的ノ品種ナドニ付テ公定相場ノ梓ヲ決メルカ、或ハ何ト申シマスガ、其ノ間デ品種寸法等ニ依ツテ自由協定ノ餘地ノアル、一ツノ標準的ノ公定相場ヲ定メマシテ、細目ノ所ハ營業者ノ組合等ニ自治協定ノ出來マスヤウニシテハ如何カ、斯ウ云フ氣持デ、從來ノ木材ニ對スル價格統制ノヤリ方ノ再檢討ヲバ命ジテ居ル譯デアリマス、具體的ニハドウ云フ風ニナリマスガ、今研究中ノコトデアリマス、是モ物價廳ニハ物價委員會ナルモノガ附置セラレマシテ、ソレニ更ニ專門ノ委員會モ附置セラレマシテ、各々ノ品種ノ問題ニ付キマシテ、ドウ云フ形デドウ云フ風ナ價格ヲスルカト云フコトハ、何レ實際家ト御相談ノ上取決メルノデアリマスカラ、其ノ際デナイト決ツタ數字ヲ申上ゲラレマセヌケレドモ、從來ノヤウナ形デナイ一ツノ價格ノ統制方式ヲ考ヘタイ、斯ウ云フ積リデ今研究ヲサセテ居リマス

○平野(增)委員 大體ノ御考ヘハ能ク了解シマシタ、サウ云フ御考ヘヲ持ッテイラツシヤルナラバ、私ハ玆ニ一ツ御願ヒ旁々提案ヲ申上ゲテ、御意見ヲ拜聴致シタイノハ、官僚ノ方、若シクハ山林局ナゾヲ相手ニシテ其ノ方策ヲ御決メニナルダケデハ、後カラ必ズ

我々民間ノ者ガ、ドウモ此處ガイケナイ、ソコガイケナイト云フ風ニ叱咤ヲ申上ゲタリ、陳情ヲシテ、ソレヲ變ヘテ戴クニハ非常ニ骨ガ折レル、斯ウ云フコトヲ慎レルモノデアリマスカラ、之ヲ御決メニナル前ニ、經濟安定本部ニ相當ナ會ガアルサウデアリマスカラ、其ノ部會ニ民間ノ經驗者ヲ相當數御採用ニナリ——是ハ委員ニ御採用ニナルカ、或ハドウ云フ御名前デモ、ソレハ我々別ニ要求致シマセヌガ、兎ニ角民間人ヲ其ノ中ニ入レテ、經驗ノアル實際家ノ話ヲ能ク御聽取リニナツテ、其ノ上デ是ナラウマク行ク、斯ウ云フ最善ノ案ヲ御作りニナルコトヲ御願ヒ致シタイ、斯ウ云フ我々ノ希望ヲ御容レニナル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ、御聞キシタイと思ヒマス

○勝國務大臣 全ク御同感ニ考ヘテ居リマス、左様ニスル積リデ用意ヲシテ居リマス

○坪井委員 經濟安定本部長ニ御尋ネ致シタイと思ヒマス、只今御質問ガアリマシタヤウニ、價格ヲ相當吊上ゲナケレバ必要ナル數量ガ出來ナイ、是ハ御尤モナコトデアリマス、生産者ニ取ツテハ、生産者價格ヲ引上ゲテ賣フコトハ皆期待シテ居リマス、併シナガラ又一面、都市ノ復興ヲシヨウト致シマシテモ、戰災家屋ノ再建ヲシヨウト致シマシテモ、價格ガ上ツテ來タノデハ、結局此ノ復興ガ出來ナイト云フ現實ナリマス、尙又一面價格ヲ上ゲレバ、ソレダケ「インフレ」ニナル處ガアル、此ノ觀點カラ見マスレバ、私ノ考ヘト致シマシテハ、石炭ニサヘモ價格差ノ補給金ヲ出シテ居ル、又國民ノ生活ニ必要ナル主要食糧ニ付テハ、政府ノ負擔モヤツテ居ル、況シテヤ住ニ至

ツテノ職災家屋ニ付テ、當然政府ニ於テ之ニ對スル補償ヲスルト云フコトガ當然ナコトト考ヘテ居リマス、サウ考ヘルト、今ノ賠償格又ハ協定價格ハ、丸公カラ見ルト大幅ナ開キガアル、之ヲドウ處理スルカ、是ガ又物價騰ノ價ミノ種ト存ジマスルガ、我々ト致シマシテハ、材木ガ現ニ角必取數ヲ得ラレタトシテ、其ノ價格ト云フコトヲ先ヅ目標ニシナクテハナラナイ、同時ニ職災家屋ニ限ツテ、價格差ノ補給金ト云フヤウナモノヲ出サナクテハ、現在安定本部ガ考ヘテ居ルヤウナ丸公價格ガ如何ニ高ク決マツテモ、到底生産者ノ價格ニ及バヌモノデアルト考ヘルトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、三百數十萬ノ職災家屋ヲ、政府トシテハ計畫のニヤラレルコトハ存ジマスガ、一日モ早ク之ヲ復舊サセヨウト云フノニハ、個々ノ住宅建設ニ對スル補給金ヨリモ、木材ノ價格ノ方ヘ補給金ヲ持ツテ行ツテ、生産者ニ納得ノ行ク價格ニシテ、木材ヲ出シテ賣フト云フコトガ一番早道ト私ハ考ヘマス、之ニ付テ安定部長ノ御所見ヲ拜聽致シタイと思ヒマス

○膳國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、私ガ木材ノ物價政策ニ付テハ、從來ト多ク少遠ツタ行キ方ヲ今考ヘツ、アルト申上ゲマシタコトハ、單純ナ木材價格ノ引上ト云フ目途バカリデ申上ゲル譯デハアリマセヌデ、寧ろ生産費モ考慮シ、他ノ物價ト「バランス」ヲ見マシテ、一方ニ於テハ生産意欲ヲ阻害スルコトノナイヤウナ、一ツノ諸物價トノ釣合ノ取レタ所ヲ狙ツテ居ル譯デアリマス、今御質問ノ御意見ノ中ニハ、一方ニ生産者ノ満足スルヤウナ相當高イ値段ヲ出シ、消費者ニハ相當ノ補助金ヲ出シテ安く賣ツテヤツタラドウカ、石炭ヤ米ナドモ、今サウヤツテ居ルデヤナイカト云フヤウナ意味合ヒノ御尋ネノヤウデアリマスガ、政府トシマシテハ、此ノ經濟混亂ノ過渡期ニ於キマシテ、色々已ムヲ得ナイ施策ハアリマスケレドモ、經濟ノ安定ヲ期シマス上ニハ、不自然ナ補助金制度ニ依リマシテ、謂ハバソコニ、一寸例ヘル言葉ハ惡ウゴザイマスケレドモ、犠牲のナ物價制度ヲ立テルト云フコトハ、健全ナル經濟ノ再建ヲ圖ル上ニ果シテドウカト云フヤウナ考ヘモアルノデアリマスシ、又財政上ノ理由ナドモアリマシテ、補助金制度ニ依リマシテ二重價格ヲ作り、其ノ間ニ生産者ト消費者トノ間ノ調和ヲ圖ルト云フコトハ、總テノ物資ニ付テサウ云フコトヲヤルト云フコトハ、到底是ハ斷サレナイコトナノデ、餘リ好マシイコトハ存ジテ居リマセヌ、漸次政府ガヤツテ居リマス補助金政策モ、是ハ整備シテ行カウト云フコトハ政府ノ考ヘテ居ルコトデアリマス、唯職災者ニ對シマスル復興建築ノコトニ付キマシテハ、是ハ別ノ意味合ヒカラ公共事業ノ補助、或ハ公共事業ノ助成ト云フヤウナ意味合ヒカラ致シマシテ、職災復興院ノ計畫シテ居リマスル復興住宅ニ付テハ、建築費ノ中ノ補助金ガ相當考ヘラレテ居ルノデアリマス、又諸ガ憤ヘ參リマスガ、經濟安定本部デハ、國民ノ衣食住ノ安定ト云フコト、是ガ最後ノ目的ナノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ根本的ナ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、將來ノ住宅ニ關スル政策ガ、非常ナ職災ヲ受ケタ家屋ヲ復興シマスノニ、是ガ木材ニ關ルト云フヤウナコトデ、果シテ近イ將來ニ其ノ目的ガ達シ

得ルヤドウカ疑念モアリマス、之ニ付キマシテハ、勿論木材ニ關ルベキモノハ頼ルノデアリマスケレドモ、其ノ主要ナ構造物材料ニ付キマシテハ、或ハ「セメント」ト云フヤウナモノニ付テモ考ヘル、サウデナケレバ急速ナ住宅復興、又永遠ノ住宅政策ト云フモノヲ立テ得ラレナイノデハナイカト云フヤウオコトモ考ヘマシテ、此ノ國民ノ生活ノ保障ト同時ニ、住生活ノ急速ナ回復ニハドウスレバ宜イカト云フコトヲ、根本的ニ一ツ考ヘタイト云フ積リニナツテ居リマシテ、安定本部ニ課セラレタ一ツノ大キナ問題ニナツテ居リマス、ドウ持ツテ行クカト云フコトハ、今私ガ御答ヘ申ス譯ニハ參リマセメケレドモ、ソナナコトモア考ヘテ居リマスコトヲ、此ノ際關聯シテ居リマスノデ、附加ヘテ申上ゲテ置キタイと思ヒマス

○森委員長 平野君

○平野(增)委員 農林當局ニ一ツ御尋ネヲ致シマス、社団法人日本林業會ノ件ニ付テ、豫テ要求シテアルノデスガ、此ノ日本林業會ノ現在ノ資産ト負債ト内容ヲ承リタイト云フコトヲ、是マデニ申上ゲテアルガ、未ダニ承レナイ、此ノ一點ト、ソレカラ現在日本林業會ヘ、國庫補助金ヲドウ云フ風ニ御支出ニナツテ居ルカ、ドウ云フコトニ補助金ハナツテ居ルカ、二十年度ト二十一年度ト補助金ノ額ヲ承リタイ、ソレカラ此ノ日本林業會ハ、私ノ最近調査致シマシタ所ニ依ルト、此處ニ林業會カラ發行致シマシタ最近ノ業務成績書ト云フモノガアル、之ニ依ツテ見マシテモ、相當大キナ負債ガアリマス、ザツト眺メマシテモ一千萬圓ト負債ヲ持ツテ居ルヤウデアリマス、而シテ

日本林業會ハ何ヲシテ居ルカト云フコトヲ調べ見マスルト、今度此ノ法律案ニ依ツテ出來ル所ノ日本林業會トハ、名前ハ同ジアルガ、性格ハ非常ナ違ヒガアル、斯ウ云フ異ツタ性格ノモノヲ、便利ダカラト云フ一ツノ言葉ニ依ツテ、法律ノ規定マデ設ケテ、此ノ權利義務ヲ承繼シナケレバナラヌト云フコトマデ考ヘラレタコトハ、少シク脱線シテ居ルデヤナイカ、斯様ニ信ズルモノデアリマス、此ノ點ニ付テノ御意見ハ既ニ聞イテアルマスカラ、強ヒテ伺ハナイガ、私ノ今御答辭ヲ願ヒタイノハ、日本林業會ノ國庫補助金ノ點ト、ソレカラ資産、負債ノ現在ノ内容、之ニ對シテ承リタイと思ヒマス

○平川政府委員 日本林業會ニ對シマス補助金ハ、昨年度ハ約二百七十萬圓程度、今年度ハ約四百萬圓、是ハ既ニ交付済デアリマス、ソレカラ資産、負債ノ内容デアリマスガ、此ノ負債ト申シマスノハ、色々ノ事業ヲ行ツテ居リマス、御話ノ如ク一般のナ指導ノ以外ニ、一部資材ノ配給或ハ特殊林産物ニ付キマシテノ斡旋ヲ致シテ居リマスノデ、其ノ事業ニ付キマシテノ運轉資金トシテ負債ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、實際ニハ是ハ資産トシテ現物ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、「バランス・シート」ノ上ニ於キマシテハ、赤字ト云フモノハナイト云フ風ニ御答ヘ申上ゲタイノデアリマス、最近ノト云フ御話デゴザイマスガ、實ハ極ク最近ノ決算ノ關係ハ取調中デアリマシテ、是ハ全國ニ支所ト云フモノガアリマス關係上、最近ノ精細ナ資料ヲ直チニ觀ルコトガ困難デアリマス、只今觀ル中デアリマシテ、六月現在位マデノ所ガ分ツテ來テ

居リマスガ、詳細ナコトヲ申上ゲルマデニ至ツテ居リマセヌ

○平野(增)委員 此ノ業務ノ内容ヲ見マス、松脂ダトカ、或ハ杉皮ダトカ云フヤウナモノノ買取販賣ヲ商賣トシテヤツテ居ルヤウデアリマス、是ハ商賣ト云フ目的デハナイノデアリマスガ、事實ハ斯ウ云フモノヲ多量ニ買付ケテ、方々ニ配給スルト云フヤウナコトヲヤツテ居ル、其ノ内輪ノ話ヲ聽イテ見マス、山林局デハ御存ジナイカモ知レマセヌガ、私ノ調べタ所ニ依ルト、此ノ考課狀ノヤウナモノニハ、現品ガ相當アルコトニナツテ居リマスガ、實際ハ品物ガ非常ニ少イ、是ガ證據ノ赤字ガ一千萬圓出テ居ル、ソレ位此ノ業績ハ惡イノダ、斯ウ云フコトヲ内輪ノ者ハ我々ニ話シテ居ル、ソレヲ以テ全部損失ナリト私ハ斷定スルモノデハアリマセヌガ、斯様ナ怪シイモノヲ、此ノ儘清算モシナイデ、新シク生レル所ノ日本林業會ヘ權利義務ヲ承繼スルト云フコトハ、是ハ誰ガ見マシテモワカシク考ヘル、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、過日私ノ主張致シマシタ老ヘ方ヲ、私ハヤハリ依然トシテ固ク主張致シタイと思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、別ニ當局カラ御意見ヲ拜聽シヨウトハ思ヒマセヌ、唯私ノ意見ヲ述ベテ、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○森委員長 氏原君

○氏原委員 私ノ御尋ネシタイコトハ唯一點デゴザイマスガ、波及アル所ハ相當重大ダと思ヒマスノデ、當局ニ於カレマシテモ、十分此ノ點ニ付テハ慎重ナ御答辭ヲ戴キタイと思ヒマス、ソレハ全國森林組合聯合會ノ問題デゴザイマスガ、現在ノ全森聯ハ單ナル申合

セノ組合ト、斯ウ云フコトニ表面上ナ
ツテ居ルト思ヒマス、所デ林業會法案
ガ成立シマシテ、日本林業會ガ生レマ
シタ場合ニ於ケル當局ノ構想ハ、實テ
ノ全木聯或ハ全森聯ト云々ヲヤウナ森
業組合ヲ組織シ、或ハ森林組合ヲ基
盤トスル全國のナ四體ガ、一ツノ日本
林業會ノ中デ融合セシテ、ソシテ本法
ニ企圖スル所ノ林業ノ改良、發達、其
ノ他色々ナ仕事ノ目的ノ達成セラレ
ヤウニシテ行キタイ、斯ウ云フ御構想
ノ如クデアリマスレドモ、現實ノ
姿ハ、既ニ曾テ全木聯ト云フモノハ解
消シテ居リマシタレドモ、再ビ全
木聯ト云フモノガ生レシテ居リマ
スルシ、又事實地方ニ於キマシテハ全
木聯ノ地方組織ガ生レテ居リマスル
シ、當局ノ企圖スル所ハ如何アリマ
セウトモ、現實ノ姿トシテハ、ヤハリ林
業組合側ト森林組合側ト云フモノト
間ニハ、各々傳統のニ異ツタ職分ヲ持
ツテ居ルノデアリ、斯ウ云フ觀念カラ
致シマシテ、全森聯ガ解消シ、全木聯
モ解消シテ一ツニ融合セフコト云フコ
トハ、實際上ノ問題トシマシテハ困難
ハナイカ、不可能デハナイカト私ハ考
ヘマス、隨ヒマシテ此ノ際ハツキリト
承ツテ置キタイノハ、當局ハ全國森林
組合聯合會ガ、現行法規ノ上ニ於テ認
メラレテ居リマスル所ノ、所謂全國
一環トシタ法規ニ基礎ヲ置ク所ノ團體
ヲ結成致シマシタ場合ニ、之ヲ御認メ
ニナリ、且ツ其ノ團體ノ健全ナル發展
ノ爲ニハ、政府トシテハ之ヲ助長スル
ト云フ御方針デアリノカ、ソレトモ又
林業會法ノ成立後ニ於テハ、全森聯、
全木聯ト云ツタヤウナ、各々ノ分府ヲ
異ニスルヤウナ全國の團體ト云フモノ
ハ、一切之ヲ認メナイト云フ御方針デ

アルノカ、此ノ點ハ相當重大ノ問題
ト存ジマスノデ、ハツキリシタ御答辯
ヲ戴キタイト存ジマス

○平川政府委員 此ノ林業會法ニ依リ
マシテ、殊ニ自治統制ト云フヤウナ面
ニ付キマシテハ、林業會ノ系統ヲ通シ
マシテ、日本林業會カラ府縣林業會ト
云フ系統ヲ通シマシテ、之ヲ行ヒタイ
ト思フノデアリマス、唯全國ノ森林組
合或ハ林業組合、或ハ木材業者ト云フ
ヤウナ方々ガ、ソレハ、ノ立場ニ於テ
全國のニ團結ヲ致シタイ、而シテ御互
ヒノソレハ、ノ仕事ノ發達ニ努メタイ
ト云フ御希望ガアル場合ニ、敢テ之ヲ
阻止スル必要モナイノデハナイカト云
フ風ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ、
公的ノ自治統制ノ面ニ於キマシテハ、
飽クマデモ林業會ノ系統ノ形ヲ通シテ
實施スル、併シ其ノ以外ニ自發的ニ團
結ヲ致シテ、其ノ事業ノ發達ヲ圖ル
云フコトニ付テハ、敢テ之ヲ阻止スル
必要ハナイ、斯様ニ思ヒマス

○氏原委員 繰返シテ御尋ネシテ置キ
マスガ、ソレナラバ全森聯ガ合法的ナ
手續ヲ經マシテ成立スルコト云フ
コトニナリマシタ場合ニハ、其ノ全森
聯ト云フモノハ、林業會ノ枠ノ中ニ於
ケル所ノ、森林組合ノ立場ニ立ツテ
協力團體ト云フヤウナ立場ヲ活動スル
コトニ付テハ、當局トシテハ何等差支
ヘナイコトデアリシ、是ハ勿論認メル
シ、サウシテ又其ノ合理的ナ範圍ノ
中デノ仕事ニ對シテハ、森林組合ニ對
スル助成強化ノ方針ニ從ツテ、是ハヤ
ハリ指導モシ、助成強化ヲ圖ツテ行
ク、斯ウ云フ風ニ伺ツテ置イテ宜シ
ノデゴザイマス

○平川政府委員 ソレデ宜シト思ヒ
マス

○坪井委員 運輸大臣ガ見エマシタカ
ラ、一言運輸大臣ニ所信ヲ御伺ヒシテ
置キタイト思ヒマス、將來國ガ斯ウシ
タ割當生産ノ木材ニ致シマシテモ、其
ノ他林産物ニ致シマシテモ、此ノ輸送
ト云フ面ニ付キマシテ、先程運輸大臣
カラ御説明ヲ戴キマシタレドモ、
〔委員長退席、綿貫委員長代理理著
席〕

何處ノドウ云フ所ニアルトハツキリシ
テ居テモ、運ベナイカラ之ヲ一ツドウ
ニカシテ呉レト云フコトナラバ、政府
ハ省營「トラック」ヲ動員シテモヤルト
言ハレテ居リマスガ、省營「トラック」
ハ今千餘シカナイ、而モソレモ省營ノ
計畫產數カラ見マスル、是亦計畫ニ
對シマシテ六割位シカ「バス」ガナイ
デアリマス、サウ云フ點カラ見マシ
テ、ソレヲ動員シタラ、其ノ地區ガ
止ツテシマフコト云フコトハ當然ノコト
デアリマス、サウ云フ出来ナイコト
ヲ、唯口デ簡單ニ、少イ「バス」ヲ以テ
動員スルコト實ハシテモ、是ハ價值ガナ
イ、何ト申シマシテモ、是ハ將來生産
地カラ先ツ鐵道線マデ運ビ出スルハ
此ノ省營「トラック」ヲ巧ク利用スル
云フ以外ニハナイト思ヒマス、隨ヒマ
シテ國內産業ニ於テモ之ニ一ツ全通ヲ
注ガレ、尙又輸入ニ於テモ、今「マツカ
ー」ノ方ヘ折衝中ダト言ハレテ居
リマスガ、何處マデモ之ヲ確保サレマ
シテ、サウシテ運輸ノ面ニ於テ、今ノ
戰災復興ニ對シマスル所ノ木材始メ、
其ノ他ノ必要物資ノ輸送ニ付キマシ
テ、萬遺憾ナキヲ期シテ置ヒタイト考
ヘマス

〔綿貫委員長代理退席、委員長著
席〕

現在ニ於キマシテハ、山ニハ騰ツテ居
ルモノガアリナガラ、結局其ノ貨積カ
ラ見マスル、全部ヲ通ジテ四〇%シ
カ第一四半期ニ出テ居ルナイト云フ現
狀カラ見マスル、此ノ責任ハ一ニ掛
ツテ交通運輸ノ面ニ一大缺陷ガアル、
尙又鐵道省ノ赤字ヲ埋メルガ爲ニ、貨
物運賃ヲ三倍ニ引上ゲルト云フヤウ
ナ、無謀ナル價格ノ引上ヲ斷行サレル
ト云フヤウナコトニナツテ參リマスル
ト、益々此ノ運輸ノ面ニ於テ、精神的
ニモサウシタ物の上ニ於テモ、消費
者ニ及ボス影響、生産者ニ及ボス影響
ト云フモノガ非常ニ大キイ、ソレダケ
直チニ消費者ノ負擔ガ多クナル、運賃
ガ嵩ムカラ、生産者ノ方トシテハ運賃
ガ嵩ムコトダケ手取りガ少クナル、斯
レ云フコトヲ目ノアタリニ見セ付ケラ
テ居ルデハアリマセウカ、之ヲ考ヘタ
時ニハ、今後戰災都市ノ復興ニ對スル
所ノ輸送物資ニ對シテハ、之ニ對シテ
マデモ運賃ヲ上ゲルト云フガ如キハ、
私ハ出来ナイコトダト、斯ウ考ヘマス
ガ、是等ニ付キマシテ運輸大臣ト致シ
マシテ、鐵道運賃ニ付キマシテ、特ニ
戰災家屋ノ復舊分ニ對シテハドシナ取
扱ヒラサレカ、減免シテ戴ケルノ
カ、ソレトモ同ジヤウニ上ゲテ行クノ
カ、或ハ他ニドウ云フ方法ヲ持ツテ居
ルカト云フコトニ付キマシテ、國割
當テ此ノ供給計畫數ヲ、百「パーセ
ント」マデ輸送サセルト云フ其ノ計畫
ガゴザイマスナラバ、運輸大臣カラ御
答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平塚國務大臣 木材ハ食糧、石炭ニ
次ガ重要物資デアリマシテ、戰災ノ復興
ニハ缺カベカラザルモノデアリマス、デ
アリマスカラ政府ト致シマシテモ、此
ノ木材ノ大量ニ出ルコトヲ希望シテ居
ルノデアリマス、輸送面ニ於キマシテ

ハ、鐵道ハ比較的復興ガ早イノデアリ
マシテ、現在デモ相當輸送力ヲ持ツテ
居ルノデアリマス、唯石炭ガ思フヤウ
ニ十分手ニ入りマセウカ爲ニ、準備シタ
モノガ百「パーセント」動イテ居ラヌ
デアリマス、先程カラ詳細ニ御質問ガ
アリマシタガ、ドウシタラバ木材ガ圓
滑ニ輸送サレカ、假ニ鐵道ガ輸送力
ガアルト云フコトナラバ、鐵道ノ方ハ
問題ニナラヌト思フノデアリマス、唯
鐵道ニ至ルマデノ木材ノ搬出ガ巧ク行
カヌト云フコトデアリマスガ、是ハ戰
争前ノ狀態ニレバ敢テ問題デナイノ
デアリマス、今日ノ場合ト致シマシテ
ハ、木材ヲ搬出ヲシテ居ツタ業者ガ到
ル處ニアルノデアリマシテ、大部分ヤ
ハリ之ニ依存シナケレバナラヌノデア
リマス、唯戰争中ニ良「トラック」ヲ
軍ニ相當徵用サレタリ、或ハ段々古ク
ナツテ使用ニ堪ヘナイト云フヤウナコ
トノ爲ニ、輸送力ガ減退シテ居ルコト
ハ事實デアリノデアリマス、運輸省カ
ラ言ヒマスル、自動車ノ統制會社ガ
各府縣ニアリマスルノデ、ドウシテモ
之ニ重擔ヲ置イテ輸送スルヤウニシ
ナケレバナラヌノデアリマス、デアリマ
スカラ、現在ノ國產ノ自動車モ公平ニ
民間ニ分配シテ居ルノデアリマス、併
シナガラ此ノ生産力ガ、月ニ漸ク一千
臺ソコノデアリマスノデ、是ハ何ト
シテモ全部ニ分ケマスルト極ク少量ノ
モノデアリノデアリマス、ソレダケデ
ハ大量ノ木材ノ輸送ニハ役立たヌコト
ハモウ分ツテ居リマス、其ノ結果ニ對
ジテ、省營ヤツタ宜イダラウト云
フ御説々ヤウデアリマスガ、省營其ノ
モノガ餘リ自動車ヲ持ツテ居リマセ
ウ、現在デモ此ノ統制會社ノ持ツテ居
ル車ト、運輸省ガ省營トシテ直接ヤツ

○氏原委員 繰返シテ御尋ネシテ置キ
マスガ、ソレナラバ全森聯ガ合法的ナ
手續ヲ經マシテ成立スルコト云フ
コトニナリマシタ場合ニハ、其ノ全森
聯ト云フモノハ、林業會ノ枠ノ中ニ於
ケル所ノ、森林組合ノ立場ニ立ツテ
協力團體ト云フヤウナ立場ヲ活動スル
コトニ付テハ、當局トシテハ何等差支
ヘナイコトデアリシ、是ハ勿論認メル
シ、サウシテ又其ノ合理的ナ範圍ノ
中デノ仕事ニ對シテハ、森林組合ニ對
スル助成強化ノ方針ニ從ツテ、是ハヤ
ハリ指導モシ、助成強化ヲ圖ツテ行
ク、斯ウ云フ風ニ伺ツテ置イテ宜シ
ノデゴザイマス

〔綿貫委員長代理退席、委員長著
席〕

現在ニ於キマシテハ、山ニハ騰ツテ居
ルモノガアリナガラ、結局其ノ貨積カ
ラ見マスル、全部ヲ通ジテ四〇%シ
カ第一四半期ニ出テ居ルナイト云フ現
狀カラ見マスル、此ノ責任ハ一ニ掛
ツテ交通運輸ノ面ニ一大缺陷ガアル、
尙又鐵道省ノ赤字ヲ埋メルガ爲ニ、貨
物運賃ヲ三倍ニ引上ゲルト云フヤウ
ナ、無謀ナル價格ノ引上ヲ斷行サレル
ト云フヤウナコトニナツテ參リマスル
ト、益々此ノ運輸ノ面ニ於テ、精神的
ニモサウシタ物の上ニ於テモ、消費
者ニ及ボス影響、生産者ニ及ボス影響
ト云フモノガ非常ニ大キイ、ソレダケ
直チニ消費者ノ負擔ガ多クナル、運賃
ガ嵩ムカラ、生産者ノ方トシテハ運賃
ガ嵩ムコトダケ手取りガ少クナル、斯
レ云フコトヲ目ノアタリニ見セ付ケラ
テ居ルデハアリマセウカ、之ヲ考ヘタ
時ニハ、今後戰災都市ノ復興ニ對スル
所ノ輸送物資ニ對シテハ、之ニ對シテ
マデモ運賃ヲ上ゲルト云フガ如キハ、
私ハ出来ナイコトダト、斯ウ考ヘマス
ガ、是等ニ付キマシテ運輸大臣ト致シ
マシテ、鐵道運賃ニ付キマシテ、特ニ
戰災家屋ノ復舊分ニ對シテハドシナ取
扱ヒラサレカ、減免シテ戴ケルノ
カ、ソレトモ同ジヤウニ上ゲテ行クノ
カ、或ハ他ニドウ云フ方法ヲ持ツテ居
ルカト云フコトニ付キマシテ、國割
當テ此ノ供給計畫數ヲ、百「パーセ
ント」マデ輸送サセルト云フ其ノ計畫
ガゴザイマスナラバ、運輸大臣カラ御
答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平塚國務大臣 木材ハ食糧、石炭ニ
次ガ重要物資デアリマシテ、戰災ノ復興
ニハ缺カベカラザルモノデアリマス、デ
アリマスカラ政府ト致シマシテモ、此
ノ木材ノ大量ニ出ルコトヲ希望シテ居
ルノデアリマス、輸送面ニ於キマシテ

○坪井委員 運輸大臣ガ見エマシタカ
ラ、一言運輸大臣ニ所信ヲ御伺ヒシテ
置キタイト思ヒマス、將來國ガ斯ウシ
タ割當生産ノ木材ニ致シマシテモ、其
ノ他林産物ニ致シマシテモ、此ノ輸送
ト云フ面ニ付キマシテ、先程運輸大臣
カラ御説明ヲ戴キマシタレドモ、
〔委員長退席、綿貫委員長代理理著
席〕

何處ノドウ云フ所ニアルトハツキリシ
テ居テモ、運ベナイカラ之ヲ一ツドウ
ニカシテ呉レト云フコトナラバ、政府
ハ省營「トラック」ヲ動員シテモヤルト
言ハレテ居リマスガ、省營「トラック」
ハ今千餘シカナイ、而モソレモ省營ノ
計畫產數カラ見マスル、是亦計畫ニ
對シマシテ六割位シカ「バス」ガナイ
デアリマス、サウ云フ點カラ見マシ
テ、ソレヲ動員シタラ、其ノ地區ガ
止ツテシマフコト云フコトハ當然ノコト
デアリマス、サウ云フ出来ナイコト
ヲ、唯口デ簡單ニ、少イ「バス」ヲ以テ
動員スルコト實ハシテモ、是ハ價值ガナ
イ、何ト申シマシテモ、是ハ將來生産
地カラ先ツ鐵道線マデ運ビ出スルハ
此ノ省營「トラック」ヲ巧ク利用スル
云フ以外ニハナイト思ヒマス、隨ヒマ
シテ國內産業ニ於テモ之ニ一ツ全通ヲ
注ガレ、尙又輸入ニ於テモ、今「マツカ
ー」ノ方ヘ折衝中ダト言ハレテ居
リマスガ、何處マデモ之ヲ確保サレマ
シテ、サウシテ運輸ノ面ニ於テ、今ノ
戰災復興ニ對シマスル所ノ木材始メ、
其ノ他ノ必要物資ノ輸送ニ付キマシ
テ、萬遺憾ナキヲ期シテ置ヒタイト考
ヘマス

〔綿貫委員長代理退席、委員長著
席〕

現在ニ於キマシテハ、山ニハ騰ツテ居
ルモノガアリナガラ、結局其ノ貨積カ
ラ見マスル、全部ヲ通ジテ四〇%シ
カ第一四半期ニ出テ居ルナイト云フ現
狀カラ見マスル、此ノ責任ハ一ニ掛
ツテ交通運輸ノ面ニ一大缺陷ガアル、
尙又鐵道省ノ赤字ヲ埋メルガ爲ニ、貨
物運賃ヲ三倍ニ引上ゲルト云フヤウ
ナ、無謀ナル價格ノ引上ヲ斷行サレル
ト云フヤウナコトニナツテ參リマスル
ト、益々此ノ運輸ノ面ニ於テ、精神的
ニモサウシタ物の上ニ於テモ、消費
者ニ及ボス影響、生産者ニ及ボス影響
ト云フモノガ非常ニ大キイ、ソレダケ
直チニ消費者ノ負擔ガ多クナル、運賃
ガ嵩ムカラ、生産者ノ方トシテハ運賃
ガ嵩ムコトダケ手取りガ少クナル、斯
レ云フコトヲ目ノアタリニ見セ付ケラ
テ居ルデハアリマセウカ、之ヲ考ヘタ
時ニハ、今後戰災都市ノ復興ニ對スル
所ノ輸送物資ニ對シテハ、之ニ對シテ
マデモ運賃ヲ上ゲルト云フガ如キハ、
私ハ出来ナイコトダト、斯ウ考ヘマス
ガ、是等ニ付キマシテ運輸大臣ト致シ
マシテ、鐵道運賃ニ付キマシテ、特ニ
戰災家屋ノ復舊分ニ對シテハドシナ取
扱ヒラサレカ、減免シテ戴ケルノ
カ、ソレトモ同ジヤウニ上ゲテ行クノ
カ、或ハ他ニドウ云フ方法ヲ持ツテ居
ルカト云フコトニ付キマシテ、國割
當テ此ノ供給計畫數ヲ、百「パーセ
ント」マデ輸送サセルト云フ其ノ計畫
ガゴザイマスナラバ、運輸大臣カラ御
答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平塚國務大臣 木材ハ食糧、石炭ニ
次ガ重要物資デアリマシテ、戰災ノ復興
ニハ缺カベカラザルモノデアリマス、デ
アリマスカラ政府ト致シマシテモ、此
ノ木材ノ大量ニ出ルコトヲ希望シテ居
ルノデアリマス、輸送面ニ於キマシテ

○坪井委員 運輸大臣ガ見エマシタカ
ラ、一言運輸大臣ニ所信ヲ御伺ヒシテ
置キタイト思ヒマス、將來國ガ斯ウシ
タ割當生産ノ木材ニ致シマシテモ、其
ノ他林産物ニ致シマシテモ、此ノ輸送
ト云フ面ニ付キマシテ、先程運輸大臣
カラ御説明ヲ戴キマシタレドモ、
〔委員長退席、綿貫委員長代理理著
席〕

何處ノドウ云フ所ニアルトハツキリシ
テ居テモ、運ベナイカラ之ヲ一ツドウ
ニカシテ呉レト云フコトナラバ、政府
ハ省營「トラック」ヲ動員シテモヤルト
言ハレテ居リマスガ、省營「トラック」
ハ今千餘シカナイ、而モソレモ省營ノ
計畫產數カラ見マスル、是亦計畫ニ
對シマシテ六割位シカ「バス」ガナイ
デアリマス、サウ云フ點カラ見マシ
テ、ソレヲ動員シタラ、其ノ地區ガ
止ツテシマフコト云フコトハ當然ノコト
デアリマス、サウ云フ出来ナイコト
ヲ、唯口デ簡單ニ、少イ「バス」ヲ以テ
動員スルコト實ハシテモ、是ハ價值ガナ
イ、何ト申シマシテモ、是ハ將來生産
地カラ先ツ鐵道線マデ運ビ出スルハ
此ノ省營「トラック」ヲ巧ク利用スル
云フ以外ニハナイト思ヒマス、隨ヒマ
シテ國內産業ニ於テモ之ニ一ツ全通ヲ
注ガレ、尙又輸入ニ於テモ、今「マツカ
ー」ノ方ヘ折衝中ダト言ハレテ居
リマスガ、何處マデモ之ヲ確保サレマ
シテ、サウシテ運輸ノ面ニ於テ、今ノ
戰災復興ニ對シマスル所ノ木材始メ、
其ノ他ノ必要物資ノ輸送ニ付キマシ
テ、萬遺憾ナキヲ期シテ置ヒタイト考
ヘマス

〔綿貫委員長代理退席、委員長著
席〕

現在ニ於キマシテハ、山ニハ騰ツテ居
ルモノガアリナガラ、結局其ノ貨積カ
ラ見マスル、全部ヲ通ジテ四〇%シ
カ第一四半期ニ出テ居ルナイト云フ現
狀カラ見マスル、此ノ責任ハ一ニ掛
ツテ交通運輸ノ面ニ一大缺陷ガアル、
尙又鐵道省ノ赤字ヲ埋メルガ爲ニ、貨
物運賃ヲ三倍ニ引上ゲルト云フヤウ
ナ、無謀ナル價格ノ引上ヲ斷行サレル
ト云フヤウナコトニナツテ參リマスル
ト、益々此ノ運輸ノ面ニ於テ、精神的
ニモサウシタ物の上ニ於テモ、消費
者ニ及ボス影響、生産者ニ及ボス影響
ト云フモノガ非常ニ大キイ、ソレダケ
直チニ消費者ノ負擔ガ多クナル、運賃
ガ嵩ムカラ、生産者ノ方トシテハ運賃
ガ嵩ムコトダケ手取りガ少クナル、斯
レ云フコトヲ目ノアタリニ見セ付ケラ
テ居ルデハアリマセウカ、之ヲ考ヘタ
時ニハ、今後戰災都市ノ復興ニ對スル
所ノ輸送物資ニ對シテハ、之ニ對シテ
マデモ運賃ヲ上ゲルト云フガ如キハ、
私ハ出来ナイコトダト、斯ウ考ヘマス
ガ、是等ニ付キマシテ運輸大臣ト致シ
マシテ、鐵道運賃ニ付キマシテ、特ニ
戰災家屋ノ復舊分ニ對シテハドシナ取
扱ヒラサレカ、減免シテ戴ケルノ
カ、ソレトモ同ジヤウニ上ゲテ行クノ
カ、或ハ他ニドウ云フ方法ヲ持ツテ居
ルカト云フコトニ付キマシテ、國割
當テ此ノ供給計畫數ヲ、百「パーセ
ント」マデ輸送サセルト云フ其ノ計畫
ガゴザイマスナラバ、運輸大臣カラ御
答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平塚國務大臣 木材ハ食糧、石炭ニ
次ガ重要物資デアリマシテ、戰災ノ復興
ニハ缺カベカラザルモノデアリマス、デ
アリマスカラ政府ト致シマシテモ、此
ノ木材ノ大量ニ出ルコトヲ希望シテ居
ルノデアリマス、輸送面ニ於キマシテ

○坪井委員 運輸大臣ガ見エマシタカ
ラ、一言運輸大臣ニ所信ヲ御伺ヒシテ
置キタイト思ヒマス、將來國ガ斯ウシ
タ割當生産ノ木材ニ致シマシテモ、其
ノ他林産物ニ致シマシテモ、此ノ輸送
ト云フ面ニ付キマシテ、先程運輸大臣
カラ御説明ヲ戴キマシタレドモ、
〔委員長退席、綿貫委員長代理理著
席〕

何處ノドウ云フ所ニアルトハツキリシ
テ居テモ、運ベナイカラ之ヲ一ツドウ
ニカシテ呉レト云フコトナラバ、政府
ハ省營「トラック」ヲ動員シテモヤルト
言ハレテ居リマスガ、省營「トラック」
ハ今千餘シカナイ、而モソレモ省營ノ
計畫產數カラ見マスル、是亦計畫ニ
對シマシテ六割位シカ「バス」ガナイ
デアリマス、サウ云フ點カラ見マシ
テ、ソレヲ動員シタラ、其ノ地區ガ
止ツテシマフコト云フコトハ當然ノコト
デアリマス、サウ云フ出来ナイコト
ヲ、唯口デ簡單ニ、少イ「バス」ヲ以テ
動員スルコト實ハシテモ、是ハ價值ガナ
イ、何ト申シマシテモ、是ハ將來生産
地カラ先ツ鐵道線マデ運ビ出スルハ
此ノ省營「トラック」ヲ巧ク利用スル
云フ以外ニハナイト思ヒマス、隨ヒマ
シテ國內産業ニ於テモ之ニ一ツ全通ヲ
注ガレ、尙又輸入ニ於テモ、今「マツカ
ー」ノ方ヘ折衝中ダト言ハレテ居
リマスガ、何處マデモ之ヲ確保サレマ
シテ、サウシテ運輸ノ面ニ於テ、今ノ
戰災復興ニ對シマスル所ノ木材始メ、
其ノ他ノ必要物資ノ輸送ニ付キマシ
テ、萬遺憾ナキヲ期シテ置ヒタイト考
ヘマス

〔綿貫委員長代理退席、委員長著
席〕

現在ニ於キマシテハ、山ニハ騰ツテ居
ルモノガアリナガラ、結局其ノ貨積カ
ラ見マスル、全部ヲ通ジテ四〇%シ
カ第一四半期ニ出テ居ルナイト云フ現
狀カラ見マスル、此ノ責任ハ一ニ掛
ツテ交通運輸ノ面ニ一大缺陷ガアル、
尙又鐵道省ノ赤字ヲ埋メルガ爲ニ、貨
物運賃ヲ三倍ニ引上ゲルト云フヤウ
ナ、無謀ナル價格ノ引上ヲ斷行サレル
ト云フヤウナコトニナツテ參リマスル
ト、益々此ノ運輸ノ面ニ於テ、精神的
ニモサウシタ物の上ニ於テモ、消費
者ニ及ボス影響、生産者ニ及ボス影響
ト云フモノガ非常ニ大キイ、ソレダケ
直チニ消費者ノ負擔ガ多クナル、運賃
ガ嵩ムカラ、生産者ノ方トシテハ運賃
ガ嵩ムコトダケ手取りガ少クナル、斯
レ云フコトヲ目ノアタリニ見セ付ケラ
テ居ルデハアリマセウカ、之ヲ考ヘタ
時ニハ、今後戰災都市ノ復興ニ對スル
所ノ輸送物資ニ對シテハ、之ニ對シテ
マデモ運賃ヲ上ゲルト云フガ如キハ、
私ハ出来ナイコトダト、斯ウ考ヘマス
ガ、是等ニ付キマシテ運輸大臣ト致シ
マシテ、鐵道運賃ニ付キマシテ、特ニ
戰災家屋ノ復舊分ニ對シテハドシナ取
扱ヒラサレカ、減免シテ戴ケルノ
カ、ソレトモ同ジヤウニ上ゲテ行クノ
カ、或ハ他ニドウ云フ方法ヲ持ツテ居
ルカト云フコトニ付キマシテ、國割
當テ此ノ供給計畫數ヲ、百「パーセ
ント」マデ輸送サセルト云フ其ノ計畫
ガゴザイマスナラバ、運輸大臣カラ御
答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○平塚國務大臣 木材ハ食糧、石炭ニ
次ガ重要物資デアリマシテ、戰災ノ復興
ニハ缺カベカラザルモノデアリマス、デ
アリマスカラ政府ト致シマシテモ、此
ノ木材ノ大量ニ出ルコトヲ希望シテ居
ルノデアリマス、輸送面ニ於キマシテ

テ居ルモノト比較シテ見マス、僅カニ二十分ノ一ヨリ車ヲ持ツテ居ラヌゾアリマス、又新シク出ル車ハ、先程申シマシヤウニ、業者ニ公平ニ分配ヲシナケレバナラヌゾアリマシテ、木材ノ搬出ダケニ新シイ車ヲ向ケルト云フコトハ中々不可能アルノデアリマス、然ラバ一體ドウシタナラバ宜イカト云フト、結局國內ノ生産ガモット大幅ニ減レバ解決致スノデアリマスガ、是モ中々期待ガ出来ヌゾデアリマシテ、何トカシテ進駐軍ニ懇請ヲシテ、外國ノ自動車ヲ輸入シテ、サウシテ食糧トカ或ハ木材トカ云フ、復興ニ必要ナ所ノ資材ノ運搬ニ役立ツヤウニシナケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマスガ、輸入ノ車ニ付キマシテ目下中デアリマスノデ、ドンナ形ニナツテ下露請輸入サレルカ未定デアリマス、若シ幸ヒニシテ輸入サレルナラバ、重要物資ノ輸送ニ力ヲ注イデ行キタイト、現在ハ嗚ヘテ居リマス

○森委員長 木島義夫君

○木島委員 木島義夫君 只今運輸大臣ガ御見エニナツテ居ラレシ、木材ノ輸送ノ問題ガ論議サレテ居ルヤウデアリマスカラ、此ノ機會ニ於テ、之ニ關聯シタ一、二ノコトヲ是非御伺ヒシタイト思ヒマス

ソレハ最近聞キマスルト、進駐軍用ノ自動車ガ拂下ゲラレト云フコトデアリマスガ、是ハ一體ドウ云フ部面ニ拂下ゲラレモノデアリマセウカ、尙ホ此ノ進駐軍用ノ自動車ハ、將來「ガソリン」ヲズツト續イテ使用サセルト云フ保證ノ下ニ、拂下サレテ居ルト云フ話モ聞イテ居リマスガ、ソレガ本當カドウカト云フコト、ソレカラ先程モ御話ガアリマシテ、一萬盛カノ「トラッ

ク」ヲ輸入スルコトヲ進駐軍ガ許可ヲシテ、之ヲ民間ニ拂下ゲルカ、鐵道省ガソレヲ使フカト云フヤウナコトデ、目下問題ニナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、果シテ是ハドウ云フ方尙ヲ取リツ、アルモノデアルカ、尙ホ聯合軍カラ新規ニ輸入サレル一萬盛カノ「トラック」、又將來輸入サルベキサウ云フ種類ノ車ハ、ヤハリ「ガソリン」ガ皆付クモノデアルカ、「ガソリン」ノ景品附デ行クモノデアルカドウカト云フコトヲ、私ハ第一ニ御伺ヒシタイノデアリマス

ソレカラ第二ハ、今日本ニアル自動車ハ、假令車其ノモノガアツテモ、燃料或ハ「タイヤ」等ニ於テ非常ニ困難ナ狀態ニアリマス、戰時中ハ燃料ガナイカラ、多クノ車ハ代燃ニ依ツタノデアリマス、代燃ノ種類ハ私ガ申上ゲルマデモナク色々アリマス、瓦斯モアレバ木炭モアリ、薪モアリ、電氣モアリト云フ工合デ「電氣ヲ代燃ト云フカド

ウカ知リマセヌガ、兎ニ角代燃レベキモノハ色々アルヤウデアリマスガ、元々是等ノモノハ「ガソリン」ノ不足カラ生ジタモノデアリマシテ、「ガソリン」ノ不足サヘナケレバ、斯ウ云フモノヲ二重ノ手間ヲ掛ケテ用ヒル必要ハナイノデアリマスガ、現在民間ニ於テハ依然「ガソリン」難デアリマス、然ラバ代燃ヲ又ドシ「付ケナケレバナラヌモノデアアルカドウカ、若シ「ガソリン」ノ輸入ニ付テ或ル種ノ見透シガ付クナラバ、代燃ハ現在アルモノヲ使ツテ、新規ノモノハ改メテ五千圓モ一萬圓モ出シテ造ラナクテモ宜イ、斯ウ云フ考モ出ルノデアリマスガ、是等ニ付テドウ云フ見透シヲ御持チニナツテ居リマスカ、序ニ「タイヤ」ナドモドウ云フ風

ニナルモノデアアルカト云フコトヲ御聽キシタイ、現ニ森林組合等モ車ノ拂下ノ車ヲ持ツテ居リマスガ、大體燃料ニ困ツテ居リマス、代燃ノ設備ヲ今スルカ、シナイカト云フコトガ問題ニナツテ居ルノデスガ、斯ウ云フ點ヲ御伺ヒシタイ

ソレカラ第三ニ、私ハ議員ノ一人トシテ、是ハ自由黨幹事長ニ先般モ御頼ミシテアルノデスガ、幹事長ハ引受ケタ儘サツバリ要領ヲ得マセヌカラ、此ノ機會ニ御伺ヒシタイと思フノデスガ、我々ハ國政ニ參與スルガ故ニ、交通上乗車ノ便ヲ與ヘラレテ、現ニ鐵道ノ一等ノ「バス」ヲ持ツテ居リマス、私ハ新米ノ議員ナルガ故ニ、此ノ「バス」ヲ賃ツテカラ、地域ノ關係モアリマスガ、マダ一等ノ車若クハ二等ノ車ニ、此ノ「バス」ニ依ツテ乘ル光榮ニ浴シテ居リマセヌ、何時モ混雑シタ電車ヲ汽車ノ中デ、鮭ニナツテブラ下ツテ居ル悲哀ヲ感ジテ居ル一人デアリマスガ、是等モ何時一等ノ「バス」ガ我々ニ「フル」ニ利用サレル時期ガ來ルノカト云フコトヲ、淡イ榮シミヲ持ツテ得ツテ居ル一人デアリマス、是ト同時ニ、我々ハ登院スルニ付テ「バス」ガアリマスケレドモ、是モ數ガ少ク回数ガ非常ニ少イ、一面政務官等ニナレバ、聞ク所ニ依ルト一臺位ノ「ハイヤー」モ充テガハレテ居ルト云フ話アル、私ハ政務官デアリマセヌカラ能ク分リマセヌケレドモ、仄カニサウ云フコトヲ聞イテ居ル、然ルニ同ジ國政ニ參與シテ居ル我々ガ「バス」モ満足ニ與ヘラレナイト云フコトハ如何ナル由ニ基クモノデアアルカ、我々ハ敢テ安易ヲ求メルノデハナイ、併シナガラ此ノ炎天下ニ、議會マデ至ル努力ニ於テ精力ノ過半ヲ浪

費シテシマフト云フヤウナ實情デアアル、黨ノ幹部ヲ通ジテ屢々請求シテ居ルニ拘ラズ、何處カラモ何ノ返事モナイ、一體是ハ木材ノ供出以上ノ重大問題デハナイカ、斯ウ私ハ思フノデアリマス、何ダカ自分達ガ乘リタイガ故ニサウ云フコトヲ言フヤウニ思ハレルノガ辛イカラ、皆默ツテ居ルノデヤナイカ、又代議士諸公ハ、多クハ郷里ニ歸レバ一臺位ノ車ハ持ツテ居ルト信ジマス、併シナガラ此ノ食糧難、燃料難ノ時ニ、東京マデ之ヲ持ツテ來テ動カスト云フコトハ餘程ノ困難サガアルト云フコトモ考ヘテ貰ハナケレバナラヌゾアリマス、又我々議員ガ調査ノ必要等モアツテ、出歩カナケレバナラヌ場合モ澤山アルト思フ、斯ウ云フ場合ニ備ヘル爲ニ、衆議院內ニ五臺ヤ六臺ノ自動車ハ備ヘテ置イテ、サウシテ我々ガ公的ノ必要ニ應ジテ、何時デモ動カシ得ルト云フコトニシテ貰ハナケレバナラヌト思フ、滿尾政府委員ノ如キハ、自動車行政ノ「オーソリテイ」デアアツテ、大ナル抱負モ御持チニナツテ居ルコトハ屢々仄聞シテ居ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ於テモ十分ノ手腕ヲ發揮サルベキデアルト私ハ信ズルガ故ニ、餘分ノヤウニモ考ヘラレマスガ、是モ國政ノ爲ニ重要ナ案件ト考ヘテ、此ノ機會ニ以上ノ三點ヲ御質問申上ゲマス

○平塚國務大臣 自動車ガ非常ニ不足デアリマシテ、凡ル小運送ガ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマスガ、幾國產ヲ獎勵シマシテモ足りマセヌ、是ハドウシテモ大幅ニ輸入サスル途ヲ開カナケレバナラヌト云フコトカラ、大分前カラ輸入ニ對シテ懇請ヲシテ居ルノデアリマス、併シ是ハ中々面倒ナ問題デア

アリマシテ、今マデ簡單ニ解決シナイト云フコトハ、自動車ガ輸入サレルノダ、サウシテソレガ省營デアルトカ民營デアルトカ言ツテ多少噂ニ出マスルト、向フハサウ云フコトヲ取扱ノ上ニ於テ非常ニ氣ニシマシテ、先達テモ、私ガ一寸今サウ云フ計畫ヲ持ツテ居ルト云フダケヲ議會デ答辯シタコトガ問題ニナリマシテ、運輸次官ガ呼バレテ大變御叱リヲ受ケテ來タノデアリマシテ、具體的ニハ答辯シ兼ねルノデアリマス、併シナガラ是ハ可ナリ長イ間ノ懸案デアリマシテ、早晚許サレルノデハナイカト想像シテ居ルノデアリマスガ、假ニ輸入ガ許サレテモ、ドンナ形デソレヲ運搬スルカト云フコトハ、其ノ輸入スル時ニ色々ナ條件ガ附イテ來ルト思ヒマスノデ、其ノ條件ニ從ハナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リマス、隨テ空ノ車ヲ貰ヒマシテモ、國內十分燃料ガナイト云フコトハ皆御承知ノ通りデアリマシテ、ドウシテモ自動車ニ併セテ燃料モ輸入サシテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ懇請中デアリマス、輸入ノ自動車ニ付テハ大體是デ御諒解ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス

ソレカラ議員ノ乗物ノ非常ニ御不便ナコト、是ハ重々御察シシテ居リマス、何トカ緩和シタイト思ツテ色々考ヘマシテ、セメテ汽車デモ電車デモ、議員ガモウ少シ榮ニ乘レルヤウニシタイト思ヒマシテ、是モ進駐軍ノ方ニ色々話掛ケテ居ルコトモアルノデアリマスガ、斯ウ云フコトモ、内容ヲ申ス譯ニ行キマセヌ、果シテ成功スルカシナイカ分リマセヌカラ……、併シ運輸省トシテハ考ヘテ居ルト云フコトダケハ確カデアアルノデアリマス、唯政務官達ハ

勝手ニ自動車ニ乗ツテ居ルヤウニ見エ
マスルケレドモ、役所ニ於キマシテモ
洵ニ車ガ不自由デ、各省デ幾カノ車
ヲ、政務官ト云ハズ、事務官デアツテ
モ、局長デアツテモ、必要ニ應ジテ少
數ノ車ヲリ線リシテ乗ツテ居ルノ
デ、大臣以外ハ殆ド獨占シテ車ヲ持
テ居ナイヤウナ今日ノ情勢デアアル
アリマシテ、皆サンニマデソレガ利用
出來ルマデハ一寸時間ガアルト思ツテ
居ル譯デアリマシテ、暫ク御辛抱ヲ願
ヒタイト思ツテ居リマス、併シ投ゲテ
ハ居リマセヌ、國產デモドンノ獎勵
シテ造ルモノハ造ル、輸入ガ出來ルナ
ラ大福ニ輸入シタイ、サウシテ國民
一般ニ是ガ利用出來ルヤウニシタイト
云フノガ私ノ念願デアリマス、ソレカ
ラ代用燃料ニ付キマシテハ、政府委員
カラ御答ヘ致シマス

○瀧尾政府委員 自動車ノ代燃ノ問題
ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、「ガソリン」
ノ配給量ハ、今年ノ第一四半期ハ一萬
七千「トン」デアリマス、第二四半期ハ
三萬「トン」デアリマス、第三四半期
ハ、是ハ見込デアリマスガ、ザツト三
萬六千「トン」位デアアル、第四四半期ハ
大體四萬「トン」ニ上ルダラウ、斯ウ云
フ見込ヲ立テ居ルノデアリマスガ、
之ニ對シマシテ需要ノ方ヲ申シマス
ト、現在「ガソリン」デ走ツテ居ル車ダ
ケヲ目標ト致シマシテ、ザツト六萬七
千「トン」ハ一四半期ニ要ル譯デアリマ
ス、デスカラ第二四半期ノ實績ザツ
ト半分、ト云フ所デアリマス、第三四
半期ニ於キマシテ半分ヨリ少し上ニナ
ル、第四四半期ニナルト七割見當ニ大
體ナルト云フ見當デアリマス、是ハ先
程一寸觸レマシタヤウニ大體米軍ノ
「アメリカ」カラノ輸入ガ漸次増シテ戴

イテ居ルト云フ實績ニ基イテ、斯ウ云
フ豫想ヲ立テテ居ル譯デアリマス、所
ガ代燃ノ車ハ、「トラック」ハ戰爭中ト
雖モ「ガソリン」車デ相當走ツテ居ツタ
ノデアリマスガ、「バス」ハ九五%マデ
代燃ニナツテ居リマス、現在ソレダケ
ノ車ガ約一萬輛走ツテ居ル、何ヤカラ
混セマス、ザツト四萬輛位代燃器ノ
附イタ車ガアルト思フデアリマス、
斯様ナ「ガソリン」ノ殖エ方ノ趨勢デア
リマスカラ、今直チニ代燃ノ切替ヘル
ト云フコトハ不可能デアリマス、私共
少クトモアト三年位ハ代燃ニ依存シナ
ケレバナラヌ時ガ續クデアラウ、斯ウ
云フ見込ヲ立テテ居リマス、隨テ代
燃器ノ生産ト云フモノハ今後ト雖モ暫
クノ間手ヲ弛メル譯ニハ行カナイ、又
現在代燃デ走ツテ居リマス車ハ少ク
モ代燃器デ行キタイ、今後造リマスモ
ノハ成ベク「ガソリン」車ニシテ行キ
イ、斯様ナ考ヘテ居リマス、又「タイ
ヤ」等ニ付キマシテモ、實ハ非常ニ「タ
イヤ」ノ生産ガ落ちテ居ルノデス、數
字的ニ申上ゲマスと云フト、極ク極端
マンデ申上ゲマス、年間ニ只今ノ
所、一萬三千輛國產車ガ出來ルト計算
致シマシテ、現在走ツテ居ル車ト、其
ノ新車ト、若干古イ車ヲ生カシマシタ
ノト合セマシテ、六十一萬本バカリノ
「タイヤ」ガ要ル、ソレヲ生「ゴム」ノ量
ニ換算致シマス、一萬九千「トン」位
ノ「ゴム」ガ要ル、斯ウ云フ計算ニナ
ル、所ガ我が國ニアリマスル「ゴム」
ハ、A、B、C、三「クラス」ニ分ケマ
シテ、ザツト三萬「トン」ト云フコトデ
アリマス、所ガ其ノ中デ一番質ノ良イ
モノ約一萬「トン」位ガ、見返リ物資ト
シマシテ輸出セラレルト云フコトデア
ル、サウシマスルト、餘リ質ノ良カラ

ザルモノガザツト二萬「トン」殘ル、是
デハ逆モ此ノ生「ゴム」ノ供給ノ面カラ
致シマシテ、「タイヤ」ノ供給ト云フモ
ノハ非常ニ心細イ、隨テ古「タイヤ」ヲ
出來ルダケ再生致サセルト云フノモ一
ツノ手デアリ、又其ノ努力ヲシテ居ル
譯デアリマスガ、大局的ニ見マシテ、
ドウシテモ「ゴム」資源ノ獲得ニ國トシ
テ努力シテ戴カナケレバ、此ノ面ノ苦
況ハ打開出來ナイ、斯ウ云フ實情ニ立
至ツテ居ルノデアリマス、部品ハ今此
處ニ數字ヲ持ツテ居リマセヌガ、部品
ノ問題モ、實ハ甚ダ困ツタ問題デゴザ
イマシテ、是ハ自動車ノ生産ニ關係シ
テ居ル、自動車ノ生産ガ、此ノ三月カラ
大體三社合セマシテ千輛出來ル、多ク
出來マシタ時ニハ千五百輛近キ行ツタ
コトモアリマス、所ガ物動計畫デ正面
カラ自動車ノ生産用トシテ相當テラレ
タ「トン」數ハ、鐵鋼ハ第一四半期ニ儲
カ四千「トン」デアツタト思ヒマス、千
五百萬ノ生産ヲ維持シヨウト致シマス
ト、ザツト二萬「トン」位ノ鐵ガ要ル、
ソレニ對シマシテ、表向キ戴ク資材ノ
世ト云フモノハ斯クノ如ク小サイ、然
ラバ其ノ差ハドウシテ居ルカト申シマ
スト、現在ノ所ニ於キマシテハ、軍ノ
放出資材等ヲ色々買漁リマシテ、事實
上「メーカー」ガ自分ノ實力デ以テ集
メテ資材ヲ造ツテ居ルノデアアル、然ラ
バサウ云フ狀態ガ今後レダケ續クカ
ト云フコトニ、是レ亦非常ニ不安ガア
ル、是ハ結局日本ノ鐵鋼ノ生産ニ繫ガ
ツテ居ル問題デアリマシテ、此ノ部門
ダケデハドウモ出來ナイ問題デアリマ
ス、又獨リ鐵鋼ノミナラズ、「コークス」
等ノ獲得ガ非常ニ不圓滑ノ爲ニ「メー
カー」ハ非常ニ困ツテ居ル、アレデ
モ困リ、是デモ困ル、實ニ氣ノ毒ナ立

場ニアル、私共ト致シマシテモ、特ニ
部品ハ車輛ノ保守、修繕上絕對ニ必要
ナモノデアリマスカラ、其ノ生産ニ付
テ非常ニ注意ヲ傾ケテ、運輸省ト致シ
マシテハ、相當數額ノ代位注文ヲ致シ
マシテ、部品ノ生産ヲ刺激スルト云フ
手段ヲ只今執ツテ居ル譯デアリマス
○木島委員 私人部品、殊ニ電氣器具
ノヤウナモノニ付テ、日本デ製造サレ
タモノハ非常ニ粗惡品デアアル、是ハモ
ウ當局モ能ク御認メト思ヒマス、戰爭
中ハ飛行機ノ製造其ノ他デ已ムヲ得ナ
イト致シマシテモ、今日ハ飛行機ノ工
場モナクナツテ居ルシ、又之ニ要シタ
資材等モ餘ツテ居ルト考ヘラレマスカ
ラ、此ノ方面ニ對シテ、鐵道省ハモツ
ト「イニシアテイヴ」ヲ執ルベキデア
ル、唯成行ニ任セテ、傍觀主義デ、縣
日ノ商人ガ賣ツテ居ルヤウナ品物ヲ未
ダニヤラセテ居ルト云フコトハ、一方
ニ於テ鐵道ノ事業ニ付テ是レ程企畫
制、統制ヲ行ツテ居ルニ拘ラズ、此ノ部
品ニ對シテ斯クノ如ク放漫且「ルー
ズ」デアルト云フコトハ、國家トシ
テ、洵ニ自動車事業ニ對シテ不忠實デ
アル、此ノ自動車事業ニ對シテモウ少
シ積極性ヲ執ツテ、日本ノ商品ノ信用
ヲ得ルノハ勿論、此ノ切迫シタ輸送界
ニモツト確實性ト敏捷性ヲ廣スベキデ
アル、現在車ガ動カナイデ居ルノハ、
主ニ其ノ點デアルト云フコトヲ御考ヘ
下サイマシテ、モウ少し此ノ點ニ對シ
テ、新シイ構想ヲ是非練ツテ戴キタイ
ト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キマス、
若シ御答ヘガアリマシタラ御願ヒ致シ
マス

○瀧尾政府委員 實ハ部品ノコトニ付
テハ御同感デアリマスガ、形式的ナコ
トヲ申上ゲルヤウデ恐縮デアリマス
レドモ、部品ノ方面ノ監督權ハ商工省
ニアル、私共ハ需要者側ノ立場ニ立ッ
テ、皆サンノ爲ニ代辯ヲシテ居ルダケ
デアリマシテ、直接ノ御注文ニ付キマ
シテハ、是非商工當局ニ一應仰シヤツ
テ戴キタイ
○磯田委員 形容ガ引例ヲ排シマシ
テ、農林大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒ
マス、戰時中統制機關デ大體統合サレ
タモノハ、此ノ際一切御破算シテ貰
フ、サウシタ觀點カラ各府縣ニアリマ
ス燃料統制組合、斯ウ云フヤウナモノ
ヲ今後モ存続シテ置ク御氣持デアアル
カ、又今度出來タ生産組合等ニ依ッ
テ、ソレヲ新シキヤラセルト云フヤウ
ナ考ヘガアルカドウカ、殊ニ燃料統制
組合ニ對シテ、縣廳ノ所謂主任技師
等ガ重役トシテ入ッテ居ルト云フヤウ
ナ場合ニハ、之ヲ今後モ認メルカドウ
カト云フコトニ付テ一應御伺ヒ致シ
タイ

次ハ現在ノ山林ニ對スル行政訴訟ノ
件數ハ何件アルカ、サウシテソレハド
シナ形式ニナツテ居テ、其ノ府縣ニ對
シテ農林當局ハ被告デアルケレドモ、
被告ハ勝訴ノ自信ヲ持ツテ居ルカドウ
カ、參考ニ申上ゲマス、私等ノ部落
デモ、明治三十三年以來四十何年間ノ
公簿面積四萬八千町歩ヲ繞ツテノ行政
訴訟ガ現在マデ續ケラレテ居リマス
ガ、斯ウ云フ問題ニ對シテ當局ハドウ
云フ考ヘヲ持ツテ居ルカ、又勝訴ノ自
信ガアルカ、ナカッタナラバ、此ノ資
源ノ拂底ノ時、ソレヲ如何ニ解放スル
カ、取扱ヲカト云フヤウナコトニ付テ、
特ニ大臣カラ御伺ヒ致シタイ

○和田國務大臣 第一點ノ戰時中ニ出
來タ色々ノ統制會社ハ、是ハ戰爭トハ
餘程經濟事情モ連ツテ來マシタノデ、

○和田國務大臣 第一點ノ戰時中ニ出
來タ色々ノ統制會社ハ、是ハ戰爭トハ
餘程經濟事情モ連ツテ來マシタノデ、

○和田國務大臣 第一點ノ戰時中ニ出
來タ色々ノ統制會社ハ、是ハ戰爭トハ
餘程經濟事情モ連ツテ來マシタノデ、

私ノ根本的ナ考ヘ方ハ、本會議ニ於テモ、述ベマシタヤウニ、ソレハ、ノ統制會社ノ機能ヲ能ク吟味致シマシテ、實際上今後モ其ノ機能ヲ果シテ行ク上ニ、サウツタヤウナモノガ必要デアレバ、ソレヲ存續シテ行キ、サウツタケレバ全部之ヲ解消シテ行クト云フヤウナ方向ニ進シテ行キタイト考ヘテ、少クトモ農林省關係ノモノニ付テハヤツテ行カウト思ヒマスガ、御話ノ辭ヲ統制ノ爲ニハ、辭ヲ只今統制ヲヤツテ居リマスノデ、ソレハ何等カ其ノ必要ナ機關ガ要リ譯デアリマスノデ、現在ノモノニ付キマシテハ、差當ツテハ運用ニ付テ十分考慮シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ノ訴訟ノ件ハ、至急調ベテ後刻御答ヘ致シタイト考ヘマス

○磯田委員 縣ノ役人等方……

○和田國務大臣 ソレハ任命デアリマスレバ、或ハ適當ナ人デアルト云フノデ、ソレヲ任命シテ行ツタノカトモ思ヒマスガ、結局ハ此ノ統制會社ヘ入リマス人ノ善シ惡シニ係ヘルノデゴザイマシテ、一概ニドウスウツ云フコトハ實ヘナイノデゴザイマスルガ、御話ノヤウニ、出來ルダケ官僚ノ古手ヲ統制會社ニ振込ムト云フヤウナ、實戰中ニヤリマシタヤウナコトハ、是ハ出來ルダケ避ケルヤウニ致シタイト思ヒマス、唯ヤハリドノ方面ニ居リマスル人デモ、相當ナ立派ナ人デアリマスルナラバ、是ハ民間ニ於テモ、サウシタ人ニ備イテ實ヒマスルコトハ適當ト考ヘマスルノデ、私共ト致シマシテハ、ヤハリ是ハ人物本位ニ考ヘテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○磯田委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○森委員長 坪井君

○坪井委員 農林大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、國家ノ再建ト申シマシテモ、現在都市ガ戰災ニ遭ツテ、殆ド總テノ家屋ヲ初メ、機械其ノ他一切ノ資源ヲ都市カラ失ツテ居ル、國家ノ再建ト云フモノノ基礎ハ少クトモ農産漁村ニアル、特ニ二千三百萬町歩ヲ持ツテ居ル山林、所謂此ノ林業ガ今後國家ノ再建面ニ大キナ力ヲ持ツコトハ、私ガ申上ゲルマデモモトイデアリマスガ、此ノ觀點カラ致シマシテ、過去ニ於キマシテハ所謂地木、日本ガアリマシテ、是ガ今回復體サレ、林業行政ヲ一貫致シマシテ、茲ニ林業會法ニ依リマシテ新タニ發足シヨウトシテ居リマスルガ、御承知ノ通り此ノ第一條ニモアリマスルヤウニ、「林業會は、會員ガ協同して、自主的に林業の改良發達並びに林産物の生産の確保及び配給の適正を圖ることを目的とする。斯ウナツテ居リマス、果シテ此ノ所謂林業會、生産者尙又企業家、木材業者、利潤相反スル此ノ兩者ガ、自主的ニ本當ニ巧ク協同シテ、此ノ改善、發達ヲ圖リ、或ハ又林産物ノ生産ノ確保、或ハ又配給ノ適正ヲ得ルヤ否ヤ、ヤハリ水ハ水、油ハ油ト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ時ニ於テ此ノ法ガ、暫定的トハ申シナガラ、生マルルト云フコトハ洵ニ遺憾デアル、ト云ツテ、現在ノ木材業者ト云フモノガ無統制デアツテ、テンデンバラ／＼デアツテ、其ノ機關ガナケレバイカナイト云フ所カラ、今回此ノ林業會法ト致シマシテ、木材業者、所謂企業者ノ爲ニ絶對的ニ森林業者、生産者ト云フモノガ之ニ加ツテ、利潤相反スルモノヲ之ニ統合シテ行ツテ、果シテ將來我ガ國ノ再建ヲシヨウ

ト云フ林業行政ガ、巧ク目的ニ副フヤウニ行カ行カナイカ、實ニ私ハ不安ニ思ヒ、過去ニ於キマスル——先程モ申上ゲマシタガ、此ノ第一四半期ニ於キマス所ノ政府ノ制當供出量ニ對シマシテ、約四割シカ實績ノ供出ガナカッタト云フヤウナ點カラ見テ、一片ノ法律ニ依ツテ是ガ決シテ出來ルモノデナイ、何ト申シマシテモ、是ハ生産者ガ本當ニ理解致シマシテ、總テノ面ニ協力ヲシナカッタナラバ、此ノ運營業巧ク行カナイ、此ノ法ノ内容ヲ見マスルト、是ハ業者ニ厚ク生産者ニ薄イト云フ感ガ多分ニ私ハ現ハレテ居ルト認メルノデアリマス、斯ウシタ、過渡期ニ於ケル業者ヲ保護スル、業者ヲ唯統制シ、ソレニ依ツテ國家目的ニ副ハセルト云フデケデハ意義ヲナサナイ、ドウシテ根本的ニ、此ノ森林行政ハ森林ノ生産者ヲ擁護シ、或ハ保護スル、此ノ納得ノ行ク指導、或ハ之ニ對スル増産ヲ獎勵シナカッタナラバ、此ノ目的ニ副ハナイ、斯ウ考ヘルモノデアリマス、之ニ付キマシテ農林大臣ト致シマシテハ、將來此ノ利潤相反スル二團體ヲ、最も自主的ニ而モ協同サシテ、目的通りヤリ得ル自信アリヤ否ヤト云フコトヲ、今更御伺ヒスルノハ甚ダ時後レノ感ガアリマスルケレドモ、尙ホ改メテ、私ハ結論ツケテ之ヲ伺ツテ置クコトガ必要デハナイカ、ト同時ニ、恒久的ノ林業會法ヲ成ベク早ク御作り願ツテ、生産者ト云フコトヲ法文化致シマシテ、生産者ガ浮バレルコトヲ考ヘルヤウニ一ツ御願ヒシタイノデスガ、此ノ意思アリヤ否ヤト云フコトニ付テ、附加ヘテ御伺ヒ致シタイ、是ガ第一點デアリマス

○森委員長 簡單ニ御願ヒ致シマス、ソレハ濟シダ質問デスカラ繰返サレルト困リマス

○坪井委員 尙ホ一點御伺ヒ致シタイコトハ、日本ニハ農耕地ハ六百數十萬町歩アリマス、其ノ耕地ニ對シマシテ、山林或ハ竹林ガ耕地ノ周邊或ハ中央ニアリマシテ、日陰ヲ及ボシテ居ル所ガ約一割アルトスレバ、六十數萬町歩ノ農耕地ト云フモノハ山林、竹林ノ爲ニ日陰ヲ與ヘラレテ居ツテ、食糧増産方面ニマデモ影響ヲ及ボシテ居ル、一割違ヘバ、此ノ耕地カラ日陰ヲ取ツテヤルコトニ於テ實ニ六百萬石ノ増産ガ出來ル、斯ウ云フコトニモ相成ル點カラ申シマシテ、農林大臣ト致シマシテハ、耕地ニ日陰ヲ及ボシテ居ル是等山林或ハ竹林ニ對シテ、之ヲ伐採サセル、而モ是ハ治水或ハ治山ニ影響ナナイ範圍、或ハ風致ヲ損ジナイ範圍ニ於テ之ヲ伐採致シマシテ、所謂一石三鳥ヲ茲ニ圖ル御意思ハナイカ、ソレニ付キマシテハ、私共ト致シマシテハ、是非共早クヤツテ實ヒタイ、唯之ヲ民間ニ任シテ置クト云フコトデナク、之ニ付テハ一ツ法文化致シマシテ、此ノ耕地ニ日陰ヲ及ボシテ居ル山林、竹林ノ伐採ヲ願フコトヲ云フコトガ、最も效果的デアルト考ヘマシテ、之ヲ先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

其ノ次ニ豫算ノ面デアリマスガ、本年ハ十二億程度ノ……

○森委員長 坪井君、モウ一般の性質問ハ終ツタコトニシマシテ、本日ハ補足的ノ質問ト云フコトニナツテ居リマスノデ、サウ云フコトヲ繰返シテ實フコト困リマス、意見ハヤメテ質問ダケ簡單ニヤツテ下サイ

○坪井委員 ソレデハ、先程日本林業會ニ對シマシテハ四百萬圓ノ助成ヲサ

レテ居ル、所ガ其ノ他ノ團體ニ對シテノ補助金ガナイト云フコトハドウ云フ譯デアルカ、本年ハ十二億以上ノ莫大ナ補助金ヲ政府ハ豫算ニ計上シテ居リマス、森林行政ニ對シテ一大改良ヲ加ヘヨウト云フ時ニ、片手落ちノ助成ノ途ヲ取ツテ居ルコト云フコトハ如何ナル理由カ、帝國治山治水協會モアリマス、大日本山林會モアル、是等ニ對シテハ補助ガ一厘モナイ、而モ此ノ帝國治山治水協會ノ主眼トシテ居ル所ノ目的ハ非常ニ大キイ、一、治山治水其ノ他國土保安ニ關スル根本策ノ考案トカ、或ハ二ニ參リマシテ、治山治水其ノ他國土保安ニ關スル森林施設ノ調査研究トカ、三へ行ツテ、治山治水ニ關スル諸法令並ニ行政機構ノ調査研究、四へ行ツテ、講習會、講演會及ビ座談會ノ開催、實地視察、五へ行ツテ、治山治水ニ關スル勤務率仕事業ノ普及、斯ウ云フ大キナ種目ヲヤツテ、全ク總テニ渾身のニ率仕事業ヲ森林ノ生産者ガヤツテ居ル、是等ノ團體ニ對シテ一厘ノ補助モナイト云フコトハ、餘リニ生産者方面ニ對スル指導機關ヲ無視スルバカリデナク、其ノ目的事業ガ是程澤山アル帝國治山治水協會及ビ日本山林會ニ對シテ補助ガナイ、日本林業會ダケニ付テハ昨年二百七十萬圓、本年四百萬圓、コンナ矛盾シタコトハナイ、モウ少シ政府ニ於テハ、是ハ十二分ニ研究サレマシテ、是等ノ團體ヲ十二分ニ發達助長サセル施策ヲ講ジテ實ヒタイ、就テハ是等ノ要望ニ對シマシテハ、必要ナル諸經費モ助成ノ途ヲ御覽ジ願フコトハ當然ノコトデアルト考ヘルノデアリマス、關聯シテ居ル問題ト致シマシテ之ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、以上デアリマス

○和田國務大臣 第一點ハ各委員ノ方々ニ御答ニ致シマシタ所ヲ以テ御承認ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、私ハ十分業者ノ方々ガ御協力下サレマスルナラバ、又政府ト一緒ニヤリマスルナラバ、十分ニソレハ出來ルト斯様ニ信ジテ居リマス、山林界ノ業界ノ方々ニハ、十分ノ熱意ト能力ガアルコトヲ信ジテ疑ヒマセヌ、第二點ハ日蔭木ノ問題デアリマスガ、是ハ農林ノ取リマシテハ重大問題デアリマス、私ノ尊敬致シマスル高田平三郎中シマス年來ノ主張ナラバアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、私ハ今回協同組合法案ニ依リマシテ、何等カ其ノ點ノ施設ヲ講ジヨウト思フタノデアリマスガ、協同組合法案ガ此ノ議會ニ出マセヌノデ、又次ノ近イ議會ニ出シマス時ニハ、ソレ等ノ問題ヲ共同ノ力ニ依リテ何カシ得ルヤウナ方途ヲ講ジタイと思ヒマス、勿論其ノ際ハ治山、治水其ノ他ノ點ニ付テモ考慮ヲ拂フコトハ當然デアリマス、ソレカラ第三點ノ山林關係ノ團體ノ補助金ノ問題デアリマスガ、是ハ御話シノ森林組合ナシカニ付テ、技術員ノ補助ガ相當ノ金額ガ行ツテ居リマスルシ、治山治水協會モ、去年ハ體力補助金ガナカツタノデアリマスルガ、山林會モ無論ナインデアリマス、ソレハ團體ニ依ツテ其ノ點ハ違フデアリマスガ、治山治水協會等ニ付テハ、今年度ハ多少考ヘテ見タイと思ツテ居リ次第デアリマシテ、ソレ等ノ團體ニ付キマスル補助ノ點ニ付テハ、今後トモ其ノ團體ソレノ仕事其ノ他ニ依リマシテ、政府トシテモ考ヘテ行キタイ積リテ居リマス

○續實委員 商工大臣ニ極メテ簡單ニ二點ダケ伺ヒマス、火力發電所其ノ他ノモノガ賠償ノ對象ト相成ルノデアリマスガ、是等ノモノヲ撤去スルニ付キマシテ、梱包或ハ輸送ト云フコトガ伴ヒマス、此ノ梱包用木材ガ相當多量ニ要ルヤウデゴザイマスガ、其ノ量並ニ其ノ必要期間ト云フコトヲ承知致シタイ、ト共ニ、到底其ノ大量ノ木材ヲ、今日ノ木材事情カラ見テ内地デ之ヲ充スト云フコトハ學東ナインデヤナイ、而モ又傳ヘルガ如キ多額ノ費用ヲ我が國ニ於テ負擔スルト云フコトハ、到底忍ビナイ所デハナイカ、是等ノモノハ聯合軍ニ於テ、其ノ資材並ニ經費等ヲ負擔シテ載クヤウニ懇願スルコトガ必要デナカラウカ、斯様ニ存ジマスルガ、此ノ點ヲドウ考ヘルカ

第二點ハ、我が國ノ産業ノ再建ニハ、貿易ノ再開ト云フコトガ最も大切デゴザイマスガ、輸出品ノ一部ト致シマシテ木工製品ト云フモノノ占メル地位モ相當大ナルモノデアルト存ジマス、殊ニ又木彫刻或ハ漆器ト云フヤウナ美術品ニ付キマシテハ、聯合軍ノ方ニ於ケマシテ、地方ニマデ來マシテ色々ト奨勵モ致シテ居リマスシ、色々指導モシテ居ルノデアリマシテ、私共ハ將來ニ多大ノ期待ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、例ヘバ木彫刻等ニ對シマシテハ、欄間ナシカデハ木材ガ要ル、是ハ内地デハ殆ドナイ、臺灣ニハ相當アル、サウシタ木材ノ必要ヲ認メルモノニ對シテハ、原材料ノ輸入ニ對スル所ノ將來ニ付キマシテ、資金ノ面ニ付テ政府トシテ何カ途ヲ開イテヤルコトガ老ヘラレルカドウカト云フコト、此ノ木工ニ關聯致シマシテ、商工省ニ於テ木工品ノ關係ヲ所管サレテ居リマスガ、是ハ消費規正ノ面カラ考ヘマシテモ、農林省ノ方ニ統合シタ方ガ宜イノデヤナイカト云フ說モアリマスガ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイ、以上デアリマス

○星島國務大臣 賠償物資ニ付キマシテハ、先般新聞ニモ公表サレマシタヤウニ、非常ニ大キナ數字ノ指定工場ガ出タノデアリマスガ、アレハ一ツノ線ヲ引カレテ、取敢ヘズ國家ガ管理ヲシテ、マダ全部アレヲ撤去サレルト云フ風ニ決マツタ譯デアリマセヌ、火力發電所モ二十一箇所モ出テ居リマスガ、アレハ九州、四國方面ニアルモノヲ取ラレマス、忽チ洪水時ノ送電ニ困ルノデアリマスカラ、是等ニ對シテ何トカ緩和スル途ヲ講ジテ貰ヒタイと思ヒマシテ、現ニ其ノ要請ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、マダ聯合軍ノ方ニ於ケマシテモ最後ノ確定ハ得ラレマセヌ、ソレハ相當ノ注文ガアレバ聽イテヤルカラ言ウテ來イ、斯ウ云フ風ニ親切ニ言ハレテ居リマス、ソレデ最後ノ線モ決マラナイノデ、サウハ全部ガ決マツタヤウニ考ヘテ行クノモ「ボッダム」宣言ノ受諾ニ依リマシテ、誠心誠意日本ハ平和ヲ愛好シ、無條件デ降伏ヲ承認シタノデアリマスカラ、サウ甘クハ考ヘラレナイ、ソコデ相當學問ハシナケレバナラヌと思フノデアリマシテ、隨テ相當數額ノモノハ最後ハ出サナケレバナラヌ、出ス以上ハ、一ツ流石ニ日本人ハ約束ヲ守ルモノダト云フ、將來ノ信用ノ爲ニヤリタイ、ダカラ完全ナ荷作リヲシマシテ之ヲ送ル、從來トモスレバ優勝チナ荷作リヲ、本當ニ何處ノ國ニモ負ケナイヤウナ、立派ナモノニシテ送ルト云フコトヲ考ヘマス云フ、假ニ先般ノ新聞

紙デ見ルヤウナ線カラ、若干ノモノハ免ラニ致シマシテモ、尙ホ相當ノモノヲ出サナケレバナリマセヌ、推定下ノ位ニナリマスガ、先般一寸本當ノ粗算用デアリマスケレドモ、千何百萬石ト云フモノガ要ルト云フノデスカラ、サウナツタ、日本ノ目先ノ進駐軍ノ家モ出來ナイ結果ニナリマス、大變ナコトデアリマスルカラ、愈々サウ云フ線ガ決マルト致シマスレバ、是ハ是非輸入ヲ繼續シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、多少ノ話合ヒハボツ、始めテ居ル譯デアリマスガ、マダ數量モ決マリマセヌ、確定モ致シマセヌカラ、サウ具體化致スコトハマダアリマセヌガ、結局ハ相當ノ輸入ヲ仰ギタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ御指摘ノ木製品ノ製造ニ付キマシテハ、是ハ日本ガ中小工業中心デ行カナケレバナラヌ現段階ニナリマシタカラ、斯ウ云フモノハ最も日本人ニ向イタ仕事ダと思ヒマス、寧ろ事業變前デモ一億圓以上ノ生産ヲ致シテ居ツタ譯デスカラ、是等ヲ一ツウツト激勵致シマシテ盛ニシタイ、ソレハ取敢ズ色々ナ諸道具、今仰シヤツタヤウナ美術工藝品ニ至ルマデノ多クノ資材ハ、ヤハリ相當南ノ方面等カラ得ナケレバナラヌト云フヤウナコトカラ見マスレバ、今カラ十分ノ計畫性ヲ持チマシテ、ソレニ處シタイ考ヘテ居リマスルガ、マダ貿易ハ管理時代デアリマシテ、見返品トシテドレ程ノ物ヲ賄ヘルト云フヤフナコトモマダ決マツテ居リマセヌガ、併シ進駐軍ノ家ガ相當出來ル、一萬戶カラモ作ルノデアリマスカラ、ソレ等ニ對シテハ相當ノ家具ガ要ルノデスカラ、サウ云フモノニ對シマスル非常ナ良イ木材ト

云フモノハ、ヤハリ内地ヨリモ寧ろ簡單ニ東亞ノ方面カラ得ラレル譯デアリマスルカラ、今後貿易廳トモ能ク相談シテ、サウ云フ方面ノ輸入モ相當仰イデ行キタイ、斯ウ云フヤウナ方針ハ先般モ申シタ次第デアリマス

○續實委員 了承致シマシタ

○森委員 武藤君

○武藤(常委員) 極メテ簡單ニ質問致シマス、今回此ノ林業會法案ガ成立致シマス時、薪炭ガ此ノ林業會法案ノ中ニ加入セラレルト云フヤウナ意見ガ極メテ濃厚デアリマシテ、隨テ之ニ關聯致シマシタ所ノ木炭ノ生産ノ件デゴザイマスルガ、戰時中日木瓦斯用木炭株式會社ニ對シマシテハ、相當ノ非難モアリ、又業者ト致シマシテモ是ハ非常ニ不蒙アルト云フヤウナ點カラ、實ハ種々ナル懸ヘザ開イテ居リマスルガ、今回ハ此ノ會社ガ解散セラレマシテ、新タニ帝國薪炭株式會社ガ結成サレル、斯ウ云フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ會社ハドウ云フ性格ノモノデアルカ、又今後斯ウシタ會社ノ必要ハナインデハナカラウカト考ヘマスルガ、之ニ付キマシテ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス

○和田國務大臣 帝國薪炭ハ瓦斯用木炭ノ統制機關デアリマスガ、經營ニ付キマシテハ色々問題モアリマスルノデ、殊ニ燃料配給統制組合ト關係ニ付キマシテハ考慮シテ居リマス、現在ノ所ハ輸送用ノ薪炭ノ特殊ノ事情ガアリマスルノデ、今直チニ之ヲ廢止スルト云フコトハ出來マセヌガ、適當ナ時期ニハ是ハ考慮シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○氏原委員 關聯シマシテ商工大臣ニ

一寸伺ヒマス、本年度「バルブ」用木
材トシテ六百四十四萬八千石ト云フモ
ノガ割當テラレテ居リマスルガ、是ダ
ケノ割當量デハ四十七萬八千「トン」ダ
ケノ「バルブ」シカ出來ナイ譯ナノデ
アリマス、是ハ人絹「サルファイド」
「グランド」簡易賣達、總テヲ通ジテノ
生産量デアリマス、所デ現在我ガ國ノ
持ツテ居リマス「バルブ」生産設備ハ
九十四萬六千五百「トン」ノ生産能力
ヲ持ツテ居リマスノデ、和紙、洋紙全
體ヲ通ジマシテ、北海道材及ビ内地材
合計額ノ割當ヲ受ケテ居リマス木材ダ
ケデハ、需要量ノ三七%乃至八%程度
ノモノシカ出ナイ、隨テ生産設備能力
カラ申シマシテモ、大體五〇%ニ足リ
ナイ程度ノモノシカ配給ノ割當ヲ受ケ
ルコトハ出來テ居リマセヌ、既ニ新聞
及ビ雜誌等ノ洋紙類ニ付キマシテハ、
「ストック」ガ段々少クナリマシテ、非
常ナ困難ナ情勢ニ向ヒツツアルヤウデ
アリマスガ、私共平和國家ノ建設、文
化國家ノ建設ニ付キマシテハ、紙ト云
フ問題ハ餘程重要ダト存ジマスノデ、
特ニ此ノ製紙用「バルブ」ノ資源ノ確
保ト云フコトニ付テハ重要ニ考ヘナケ
レバナリマセヌガ、現在ノ日本ノ木材
生産量ノ綜合的ナ計畫ノ上カラ行ケ
バ、日本ノ「バルブ」製造能力ノ五〇
%程度ノモノシカ割當ガ出來ナイ、而
モソレハ結局必要缺クベカラザル紙ト
云フモノニ對スル三七%乃至八%程度
ノ原料ニシカナラナイ、斯ウ云フコト
ニナリマスルト、勢ヒ「バルブ」トシ
テノ輸入カ、或ハ「バルブ」資源トシ
テノ木材ノ輸入、此ノ二ツノ問題ヲ考
ヘナケレバナラヌト思ヒマスルガ、此
ノ點ニ付テ商工當局デハドウ云フ對策
ヲ御立テニナツテ居リマスルカ、又現

在手持致シテ居リマスル新聞雜誌用紙
等ハ、大體何時マデ程度ノ「ストック」
ト申シマスルカ、手持ガ残ツテ居ルノ
デアリマセウカ、特ニ本年度中ニ於ケ
ル所ノ新聞雜誌用紙ニ對スル數字ヲ、
極ク大難把ナ見當テ宜シウゴザイマス
カラ、御發見願ヒタイト思ヒマス
○星島國務大臣 御指摘ノ如ク、「バ
ルブ」並ニ色々ナ人絹、紙類ニ對スル
數量ガ非常ニ少クナツテ、殊ニ新聞紙
ノ方ハ、他ノ委員會デモ非常ニ問題ニ
ナツテ、困ツテ居ルヤウナ譯デアリマ
シテ、是ハ終戰後公私ノ氣持ガ落著キ
マシテ、食糧其ノ他衣料等ガ片付キマ
ス、モウ矢モ桶モ塙ラズ、渴スル者
ガ水ヲ欲スルガ如キ狀態デアリマシ
テ、何トカハ充足シナケレバナラヌ、
今ノ所デハ需要ノ四八%ナイト云フヤ
ウナ關係デアリマスルノデ、是ハ經濟
安定本部等ニ於キマシテ十分ナ審議ヲ
受ケマシテ、「ソ」聯ト間ガ圓滑ニナ
リマシタ場合ニ於テハ、樺太其ノ他カ
ラ相當得ラレルト思ヒマスケレドモ、
今ソレモ急ニハ望メマセヌ、ソコデド
ウシテモ必要ナ場合ハ、「バルブ」ニシ
テ製品化シタモノノ輸入ヲ仰グト云フ
コトハ必要デハナイカ知ラント云フコ
トヲ、先般モ貿易廳ノ會議デ話シタノ
デアリマスガ、商工省ト致シマシテハ、
安定本部デ根本方針ヲ決メテ貰ツテ、
其ノ上デ工作ヲ致シタイ、率直ニ申シ
マスレバ、議會中デアリマシテ、其ノ
邊マデ行届イタ最後ノ數字ノ決定ハ致
シテ居リマセヌ、併シ非常ナ要求ガア
ル、何トカシナゲレバナラヌト云フ熱
意ヲ以テ、商工省ト致シマシテハ或ハ
經濟安定本部ニ之ヲ要求スルト云フヤ
ウナ積リデ居ル譯デアリマス、數字ヲ
持チマセヌノデ、答辭ガ甚ダ要領ヲ得

マセヌケレドモ、アナタノ御期待ニ副
フヤウニ努力シテ行キタイ、斯様ニ考
ヘテ居リマス
○坪井委員 星島商工大臣ニ御伺ヒ致
シマス、我が國ノ造船事業デゴザイマ
スガ、最近相當造船モ殖エテ來テ居ル
ト云フコトハ聞イテ居リマスルガ、之
ニ對シマシテノ木材ト云フモノガ、非
常ニ入手難デ困ツテ居ルノデアリマ
ス、實數ヲ申シマスルト、上半期ノ四
月カラ九月マデノ供給計畫ト云フモノ
ハ百六十九萬五千石ノ數字ニナツテ居
ルノデアリマス、ソレニ對シマシテ一
四半期ニ於テ、四月カラ六月マデニ入
手サレタモノガ、其ノ實績ガ二十九萬
六千石、是ダケノ石數デアリマシテ、
此ノ需給計畫ニ對シテノ配給實績ト云
フモノガ殆ド二〇%ニ滿タナイト云フ
ヤウナ實情ニナツテ居リマス、今後此
ノ確保ニ對シテ十二分ノ御努力ヲ願ヒ
タイ、斯様ニ考ヘマス、尙又農機具ニ
對シマシテモ、或ハ又木材其ノ他トナ
ツテ居リマスガ、此ノ中ニ包含サレテ
居ラウト思ヒマスガ、是等ニ付キマシ
テモ四百三十萬石、之ニ對シマシテ僅
カニ九十九萬七千石、斯ウ云フ數ニ相
成ツテ居リマシテ、此ノ供給數ニ對シ
テ僅カニ三〇%位ニシカ行ツテ居ラヌ
ト云フヤウナ實情デハ、如何ニ戰後ニ
於ケル復興ヲ叫ビマシテモ、是等ノ所
謂資材トナルベキ木材ガ入手出來ナカ
ツタナラバ、決シテ物ノ増産ハ出來ナ
イト云フ現狀ニアリマス、是等ニ對シ
マシテ、商工大臣ト致シマシテハ、今
後は等必要ナル木材ヲ如何ニシテ確保
スルカ、之ニ付キマシテ御答ヘヲ願ヒ
タイト思ヒマス

「マツチ」スルヤウニ十分ノ手配ヲ致シ
タイト思ヒマス、殊ニ粗製濫造品ガ、
終戰後凡ユル軍需工場ガ無暗ニ轉換致
シマシテ、造ツタ物ガ今日溜リ溜ツテ
大變ナコトニナツテ居リマス、是等ハ
再生ナリ何カシテ、下ラヌ、使ヘバ直
グ壞レルヤウナ物ハ相當ノ措置ヲシナ
ケレバナラヌ、ソレデ互ニ相補ツテヤ
ツテ行キタイト思ヒマス、木材其ノ他
ニ付キマシテモ、今後農林當局其ノ他
十分連絡ヲ致シマシテ、御期待ニ副
フヤウニ努力スル積リデアリマス
○森委員長 之ヲ以テ本案ニ對スル質
疑ヲ終了致シマシタ、次ハ十九日午前
十時ヨリ會議ヲ開キマス、其ノ際本案
ニ對スル各派ノ態度ニ付テ懇談致シタ
イト存ジマス、本日ハ是ニテ散會致シ
マス

午後零時四十七分散會

昭和二十一年十一月十日印刷

昭和二十一年十一月十九日發行

衆議院事務局

印刷部